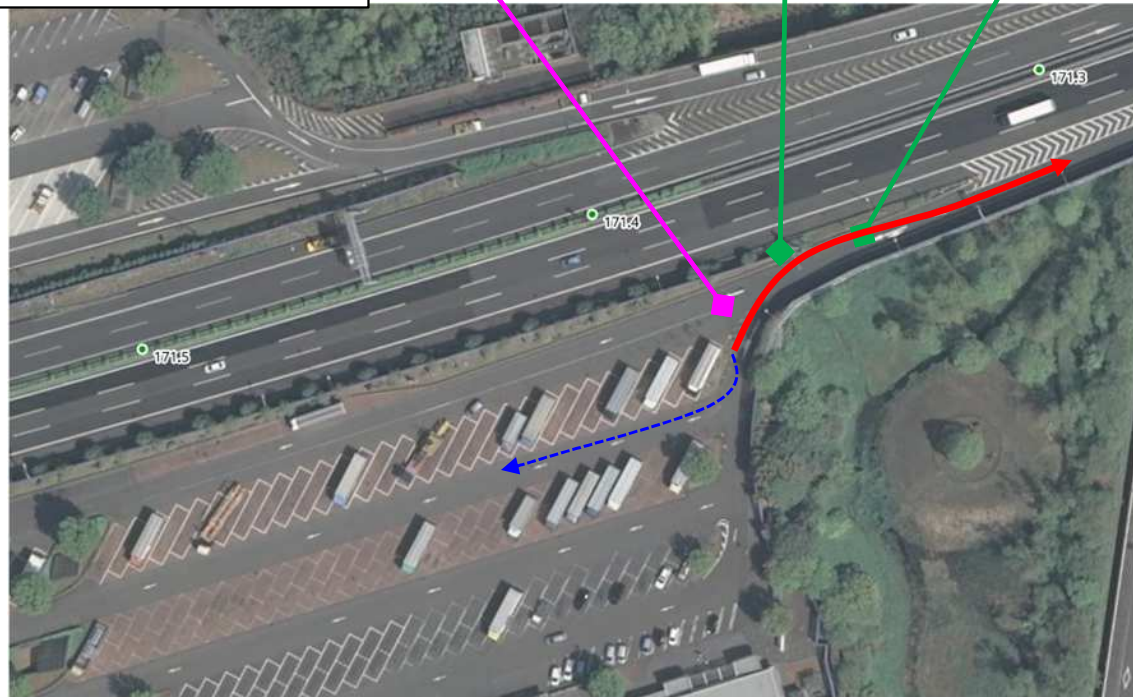


対策箇所の逆走事案詳細

○東名 日本坂PA(下り)では、2017年に逆走死亡事故が発生

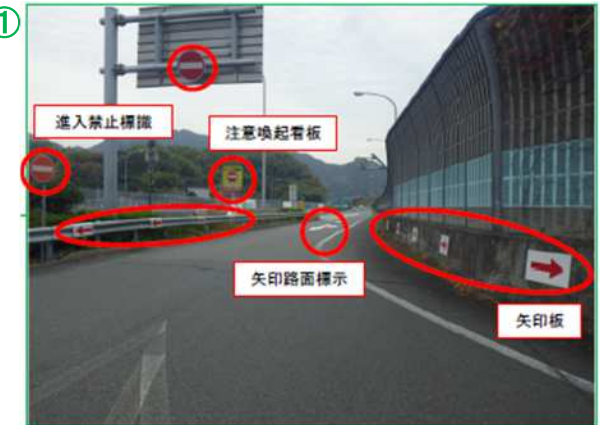
【逆走事案(概要)】

---▶ : 本来進むべき方向
→ : 誤って進んだ方向(逆走)



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策①



既存対策②



電光表示による逆走警告装置

追加対策①



路面埋込型ブレード

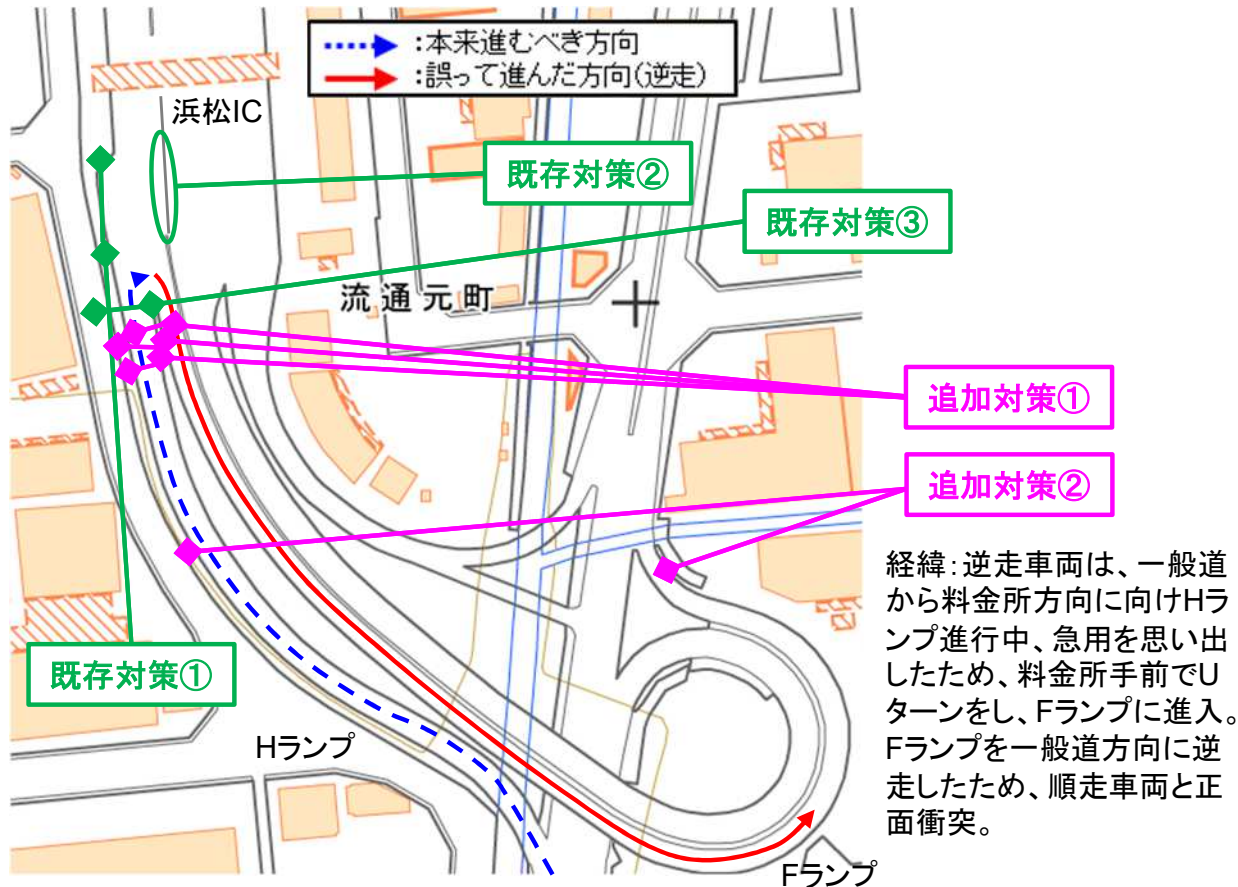
No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2017年 12月14日	25	不明	②	・休憩施設内で方向を間違え、入口部より逆走開始	路面埋込型ブレードの設置	2026年度 ~2028年度

重点対策箇所(E1 東名高速道路 浜松IC)

重大事故

- 東名 浜松ICでは、これまでに重大事故が1件発生(料金所手前でのUターン)
- 料金所手前の特別転回案内看板や事故発生個所の(ランプ合流部)の進入禁止標識や矢印板は設置済み

【逆走事案(概要)】



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策①



特別案内案内看板

既存対策②



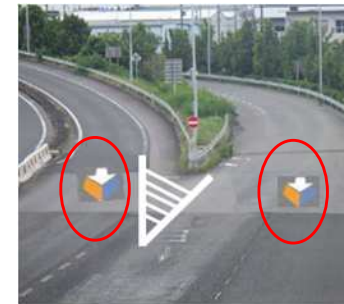
矢印板

既存対策③



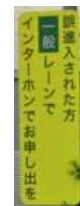
進入禁止看板

追加対策①



錯視効果路面標示

追加対策②

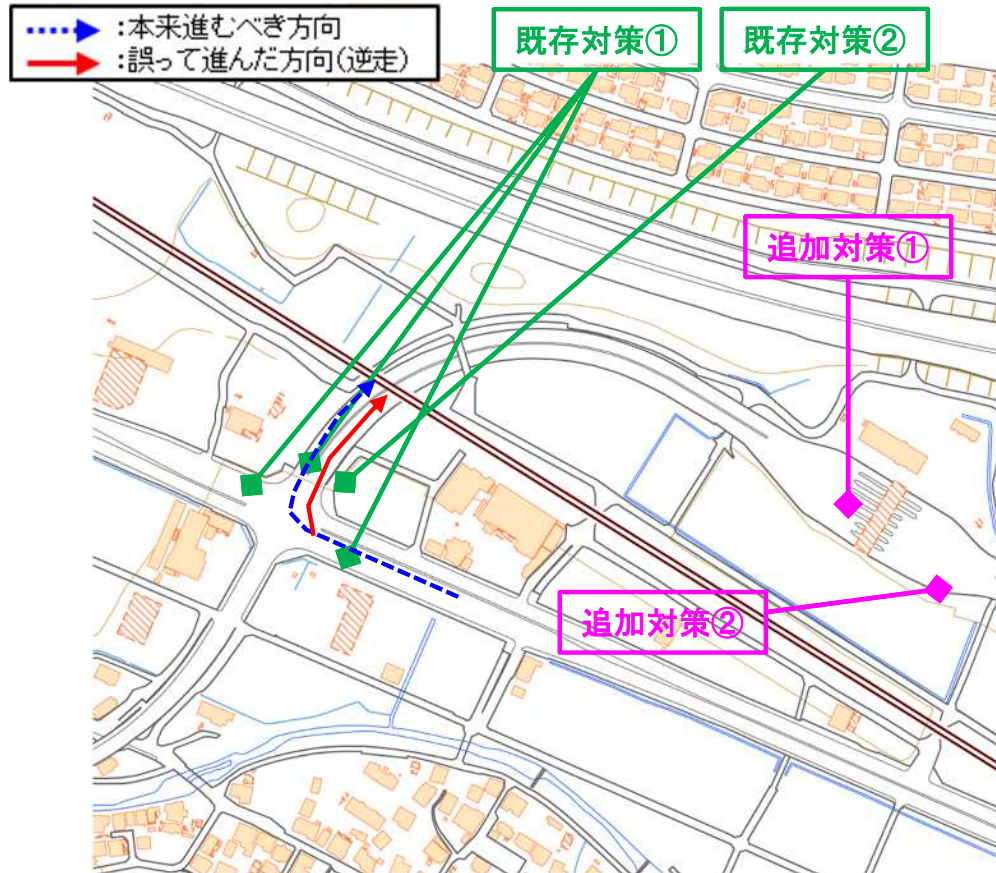


特別転回案内看板増設

No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2019年12月8日 10時19分	60	過失	④	・誤って高速道路に進入 ・一般道へ復帰しようとUターン(誤認識)	・錯視効果を応用した路面標示 ・特別転回案内看板の増設	2026年度

- 東名高速道路 音羽蒲郡ICでは、これまでに一般道からの誤進入による逆走事案が1件発生
- 一般道交差点の右折レーンから誤って出口ランプに流入し、出口ランプ上で順走車と正面衝突
- カラー舗装等による誤進入対策を実施して以降、逆走事案は発生していないが、更なる対策として物理的対策を実施

【逆走事案(概要)】



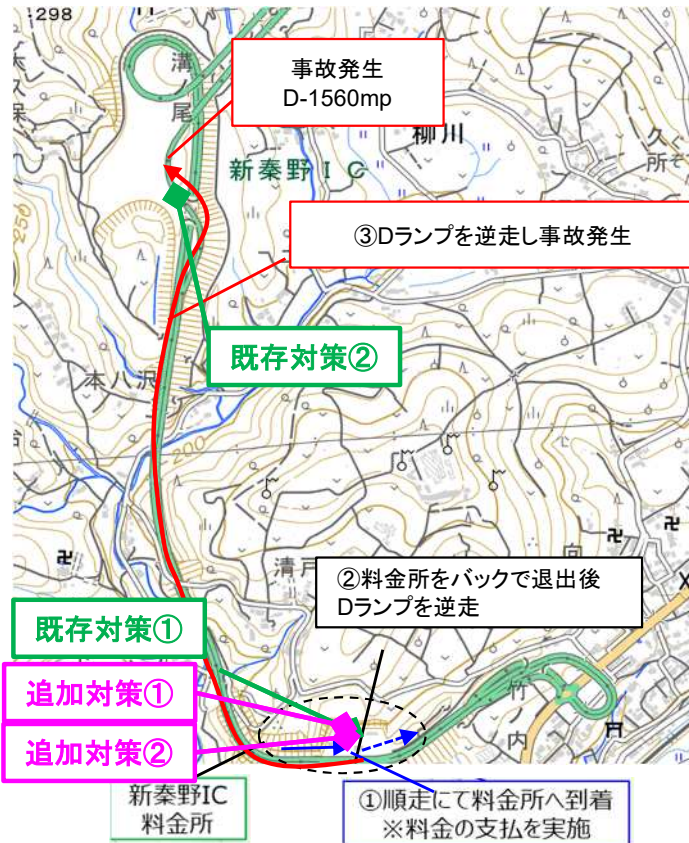
※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。



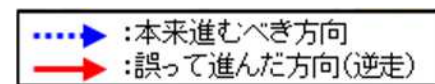
No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2019年4月14日	75	過失	④	一般道交差点の右折レーンから誤って出口ランプに入ったもの	・ウェッジハンプの設置 ・注意喚起板の設置	2026年度～2027年度

- 新東名 新秦野ICでは、これまでに重大逆走事案が1件発生(夜間発生。料金所をバックし逆走、軽傷)
- ランプ途中に矢印板、料金所に進入禁止標識や特別転回案内看板を設置

【逆走事案(概要)】



料金所で停車して精算後、バックして内プラ部で切り返し



既存対策①



既存対策②



追加対策①



追加対策②

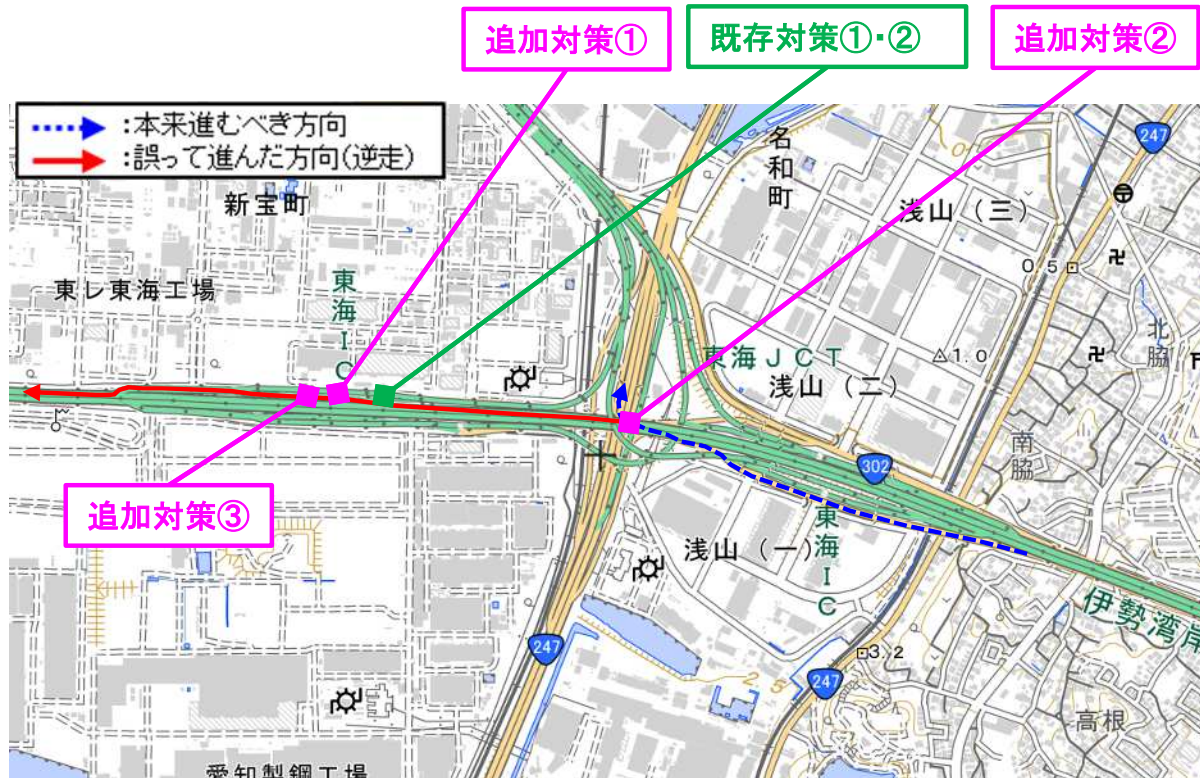


※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2022年8月1日 19時34分	64	故意	④	・降りるICを間違えた	・特別転回案内看板の追加 ・錯視効果路面標示の設置	2026年度

- 伊勢湾岸道 東海ICでは、これまでに一般道からの誤進入による逆走事案が2件発生
- うち1件は、一般道の交差点から逆走進入して料金所出口を通過後に本線に進入し、本線上で順走車両と正面衝突
- 一般道管理者と連携し、交差点の区画線の引き直しを実施済。更なる対策として物理的対策などを実施

【逆走事案(概要)】



一般道交差点の右折レーンから反対車線に進入し、一般道を約400m逆走後、出口料金所を通過して、本線に流入後、順走車と正面衝突

※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。



一般道交差点の区画線の改良。
(区画線の引き直しは事故後に実施済)

No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2023年9月16日	50	不明	③	一般道交差点の右折レーンから反対車線に入り、逆走を開始したもの(2事案とも同様)	・区画線の改良 ・ウェッジハンプの設置 ・注意喚起板の設置	2026年度～2027年度
2	2023年9月19日	77					

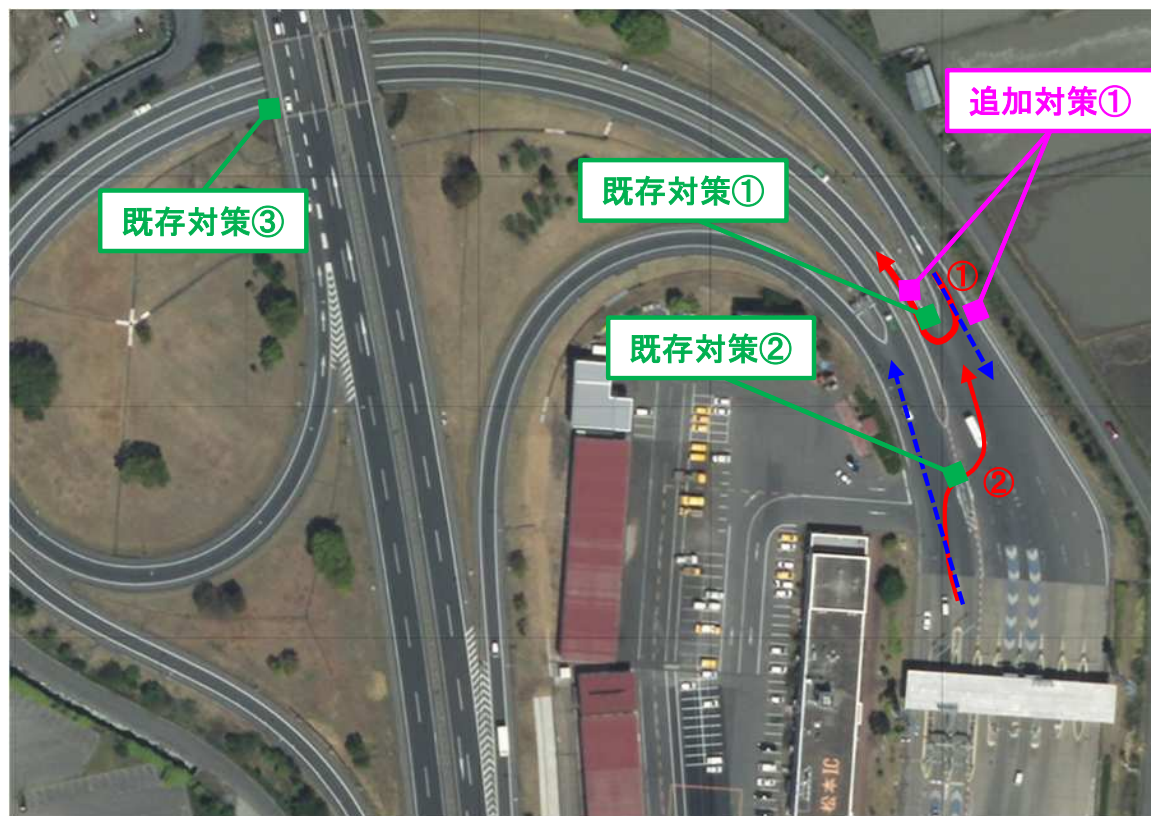
重点対策箇所(E19 長野自動車道 松本IC)

重大事故

- 長野道 松本ICでは、これまでに逆走事案が2件発生。(うち1件が重大逆走事故)
- 逆走事案を受けて、ラバーコーンの設置による閉鎖等の対策を実施

【逆走事案(概要)】

—▶: 本来進むべき方向
—▶: 誤って進んだ方向(逆走)



既存対策①



進入禁止標識
 矢印路面標示
 矢印板

既存対策②



ラバーコーンの設置による閉鎖

既存対策③



特別転回案内看板

追加対策①



リバーシブル注意看板



矢印板の増設



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、
 今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

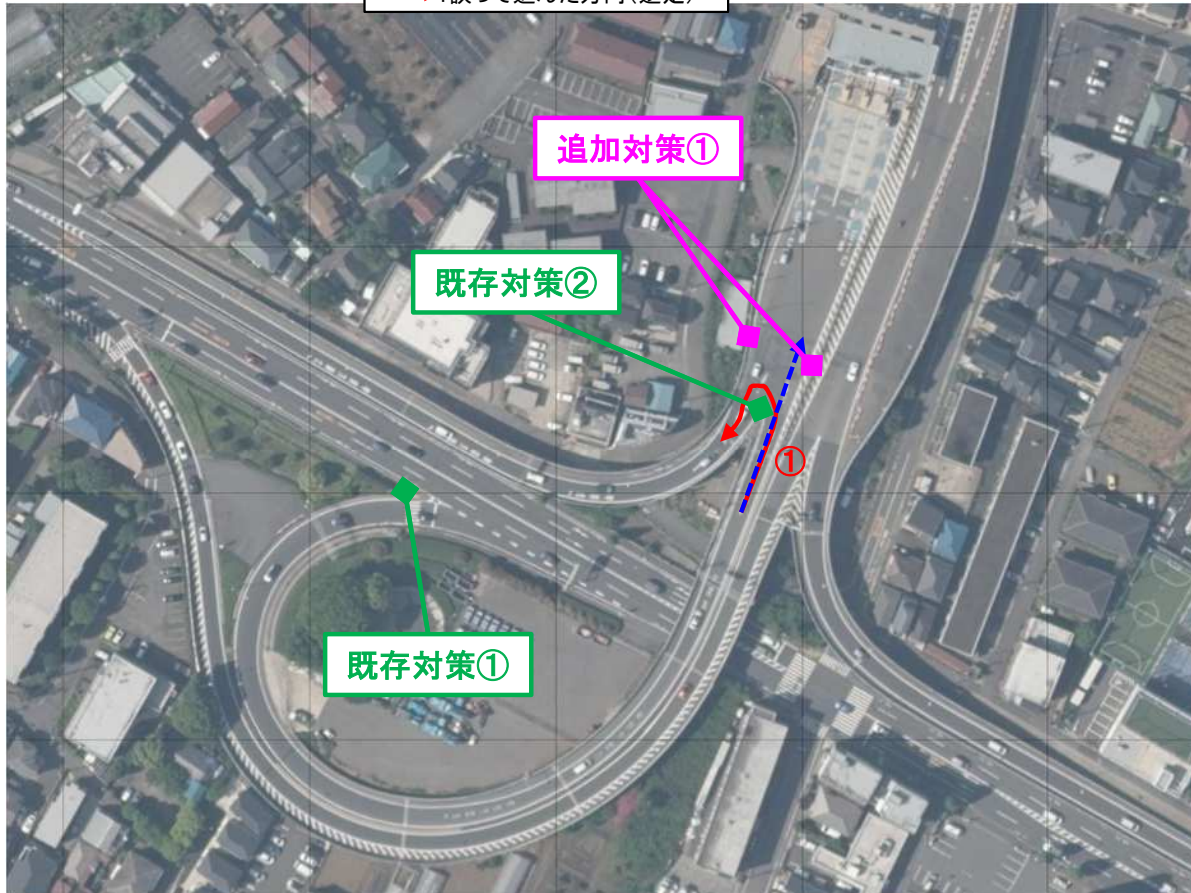
No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2019年11月1日 6時5分	66	その他	④	・高速道路本線へ復帰しようとUターン(誤認識)	・リバーシブル注意看板の設置 ・矢印板の増設	2026年度
2	2021年7月20日 23時38分	80	過失	④	・誤って対向車線に進入		

○中央道 調布ICでは、これまでに重大逆走事故が1件発生

○逆走事案を受けて、ラバーコーンの設置による閉鎖等の対策を実施。一般道入口への表示や合流部の進入禁止標識を設置

【逆走事案(概要)】

---▶: 本来進むべき方向
→: 誤って進んだ方向(逆走)



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策①



高速道路入口を示す看板の設置

既存対策②



進入禁止標識
電光表示逆走警告
錯視効果路面標示

追加対策①



特別転回案内看板を設置

No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2018年7月13日 2時53分	19	過失	④	・誤って高速道路に進入 ・一般道へ復帰しようとUターン(誤認識)	・特別転回案内看の設置	2026年度

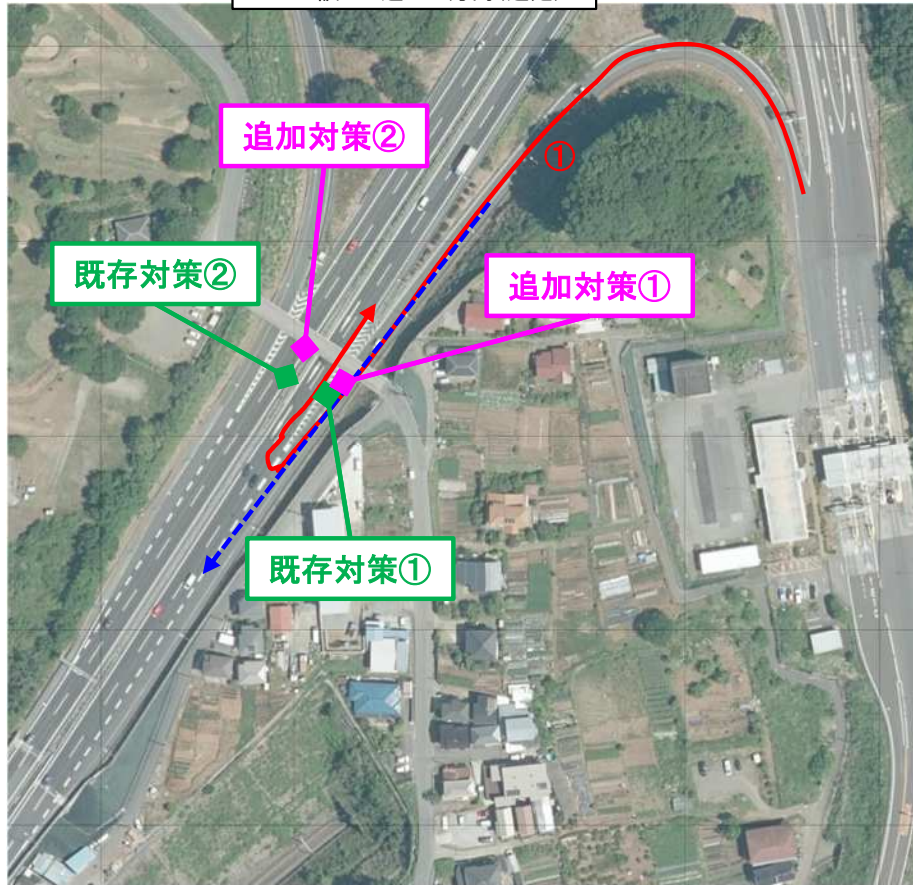
重点対策箇所(E20 中央自動車道 相模湖IC)

重大事故

- 中央自動車道 相模湖ICでは、これまでに重大逆走事案が1件発生
- 既存対策として、矢印路面標示・ポストコーン・矢印板を設置

【逆走事案(概要)】

---▶: 本来進むべき方向
→: 誤って進んだ方向(逆走)



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策①



ポストコーン
矢印路面標示

既存対策②



矢印板

追加対策①



ラバーポール
ウイングサイン

追加対策②



防眩板応用注意喚起

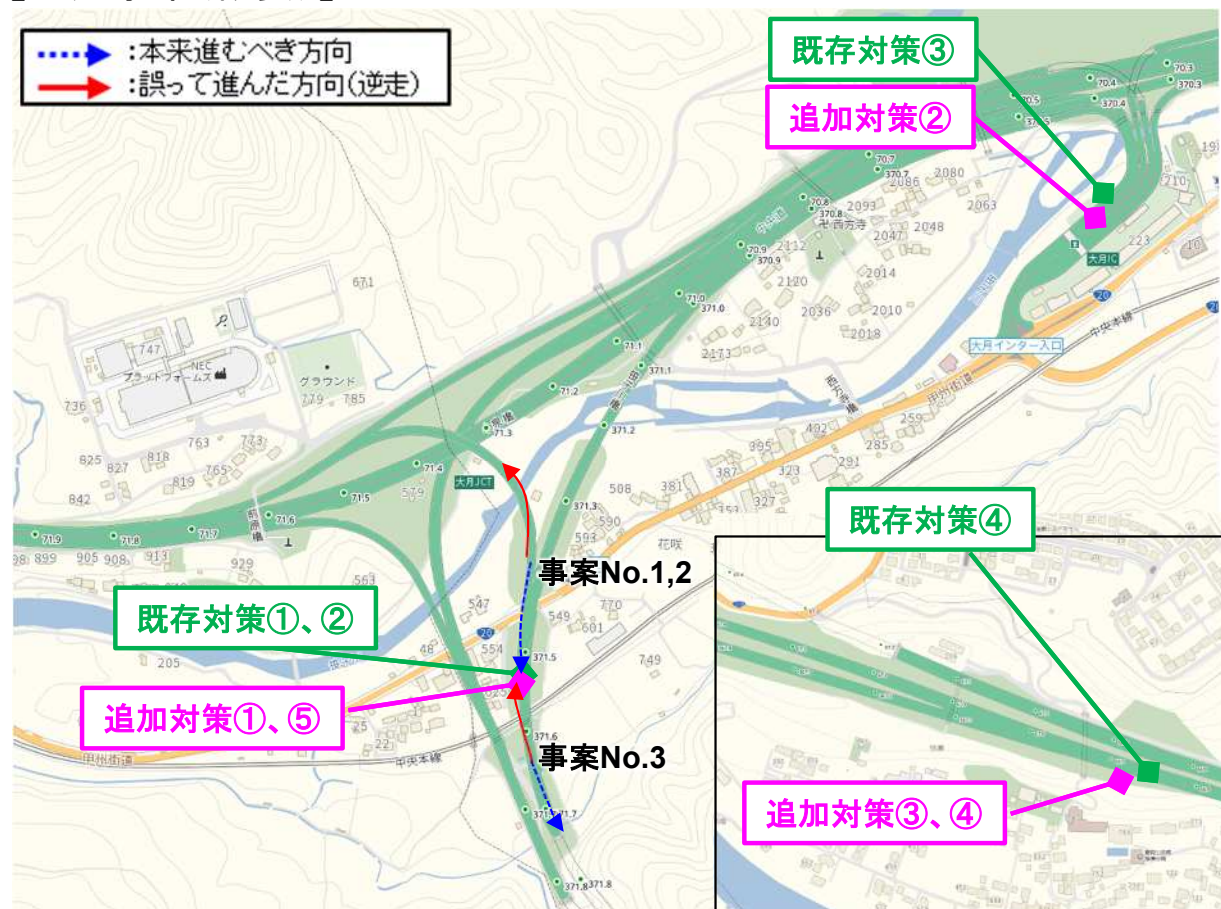
No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2019年4月2日 12時28分	69	過失	①	・カーナビの案内を誤認等 ・進行するべきルートの誤認等	・ラバーポールウイングサインの設置 ・防眩板応用注意喚起の設置	2026年度

重点対策箇所(E20 中央自動車道 大月JCT)

複数回

- 中央道 大月JCTでは、これまでに逆走事故が3件発生(IC入り口やJCT部で分岐を間違えてランプ合流部で逆走を開始)
- 逆走開始地点内訳は富士吉田線下り合流部(371.5KP)2件、富士吉田線下り花咲トンネル手前(371.7KP)1件

【逆走事案(概要)】



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策①



特別転回案内看板及び
矢印板、路面矢印

既存対策②



電光表示による
逆走警告装置

既存対策③



IC入り口の分岐部
看板・路面標示による案内

既存対策④



JCT分岐部
看板・路面標示による案内

追加対策①



電光表示による
逆走警告装置の増設

追加対策②



特別転回案内看板の増設

追加対策③



カラー路面標示による
分岐部案内強化

追加対策④



色付き矢印による
分岐部案内強化

追加対策⑤

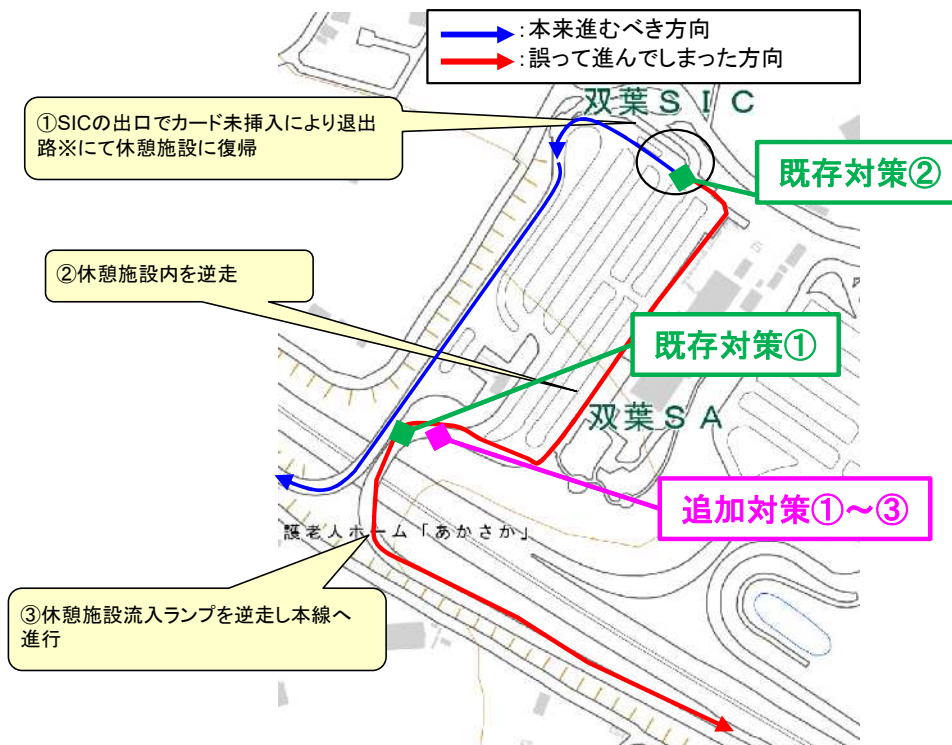


ラバーボール
ウイングサイン

No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2018年9月24日 14時55分	74	過失	④	・JCTにおいて分岐を間違え、元のルートに戻ろうと分岐部をUターン	・電光表示による逆走警告の増設 ・カラー路面標示及び色付き矢印による分岐部案内強化 ・特別転回案内看板の増設 ・ラバーボールウイングサインの設置	2026年度
2	2022年1月26日 14時12分	34	故意	④	・ICにおいて分岐を間違え、元のルートに戻ろうと分岐部をUターン		
3	2023年6月6日 14時30分	76	故意	④	・JCTにおいて分岐を間違え、元のルートに戻ろうと非常駐車帯でUターン		

- 中央道 双葉スマートIC(下り)では、R6年に逆走死亡事故が発生(夜間発生)
- SICを流出しようとしたところカード未挿入のため退出路から休憩施設に復帰した際に逆走を開始したと考えられる
- 逆走開始地点ではラバーポールと矢印路面標示により逆走しないよう対策済。ランプ部での更なる対策が考えられる

【逆走事案(概要)】



既存対策①



既存対策②



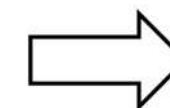
追加対策①



追加対策②



追加対策③

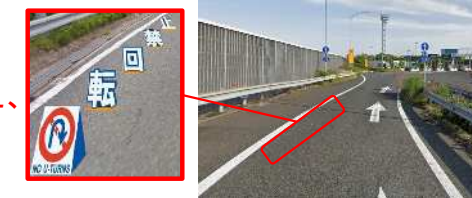
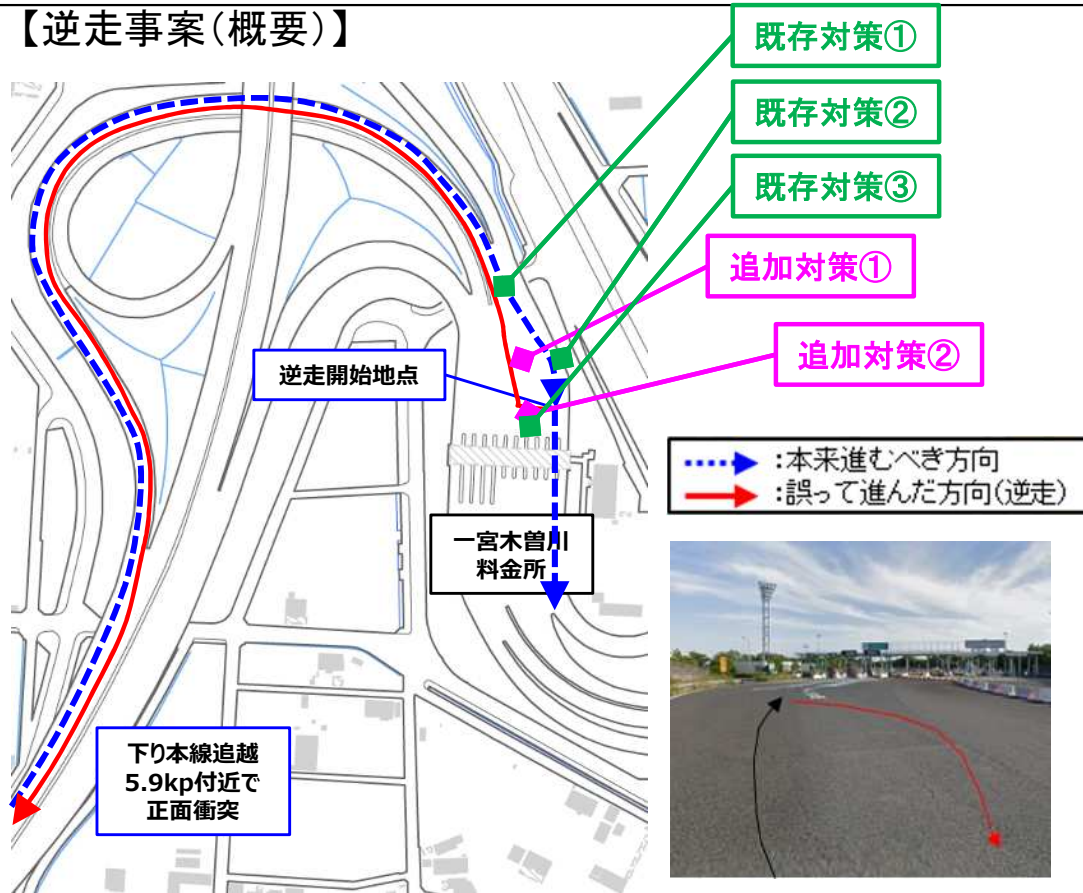


※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2024年10月18日 1時32分	26	不明	②	・SICから休憩施設に戻った際に順走経路が分からず逆走を開始した。	・電光表示による逆走警告の設置の追加 ・路面埋込型ブレードの設置 ・矢印路面標示の設置	2026年度～ 2028年度

- 東海北陸道 一宮木曽川ICでは、これまでに逆走事案が2件発生
- 2件ともに、本線から流出し、料金所付近でUターンし逆走を開始する事案。うち1件は正面衝突事故発生
- 料金所付近でUターンして逆走しているため、料金所プラザの狭窄化と本線流出ランプへの誤進入対策を強化

【逆走事案(概要)】



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

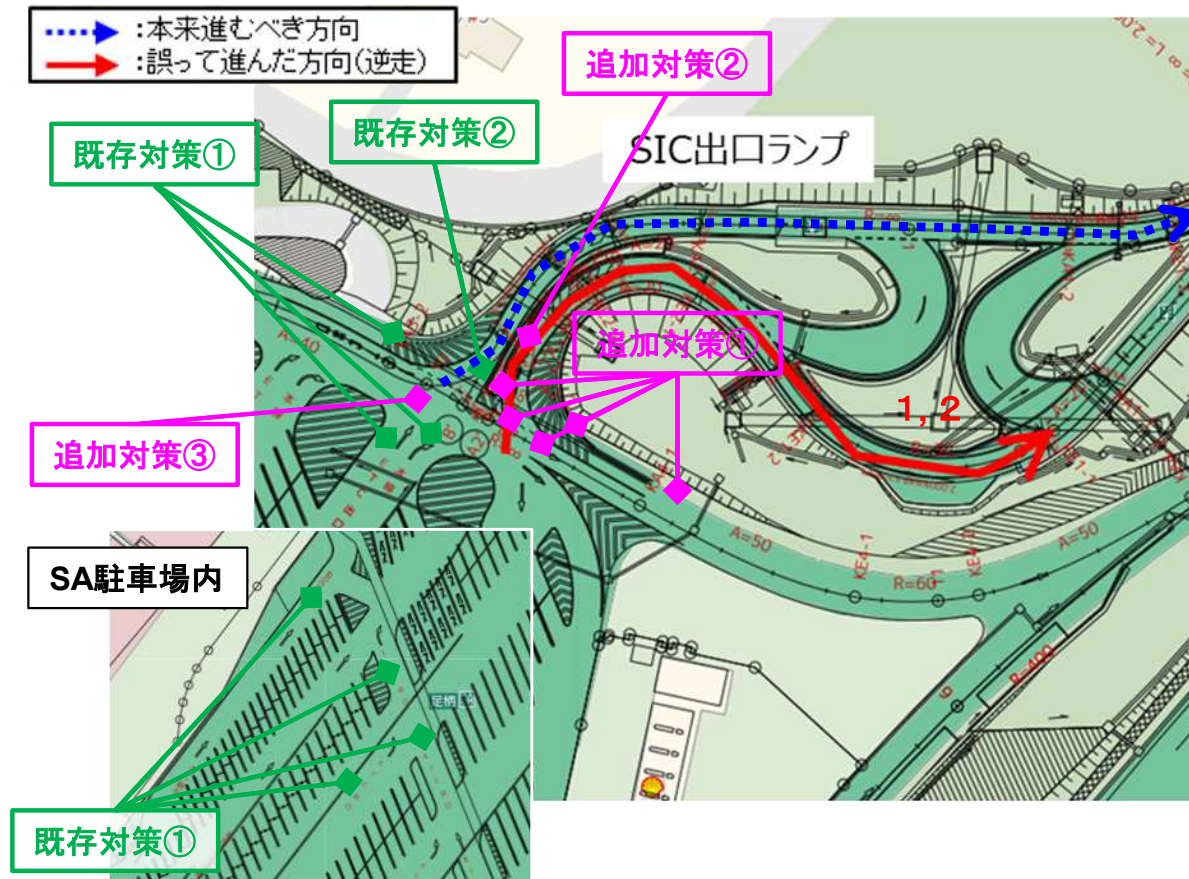
No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2021年7月7日	63	過失	④	料金所付近で転回時に逆走と気付かずに出口ランプに誤進入	・錯視効果路面標示を設置	2025年度
2	2023年12月24日	76	過失	④	ICを誤って流出し、本線へ戻るために、料金所付近で転回して逆走開始	・料金所付近狭窄化等の追加	

重点対策箇所(E1 東名高速道路 足柄SIC(上り))

複数回

- 足柄SIC(上り)では、これまでに逆走事案が2件発生(ともに入口ランプを逆走)
- 逆走事案を受けて、SA場内にSIC出口を案内する路面標示を追加

【逆走事案(概要)】



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策①



既存対策②



既存対策③



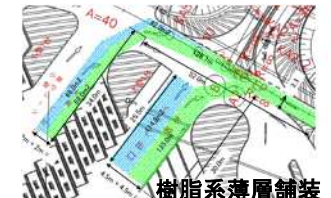
追加対策①



追加対策②



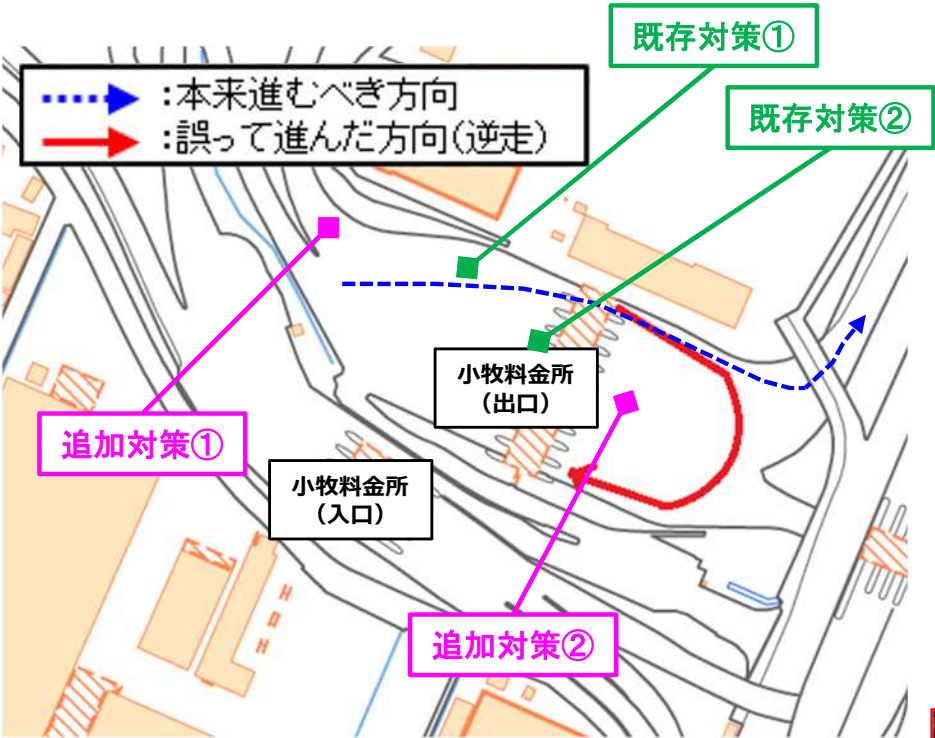
追加対策③



No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2021年11月18日 8時42分	60	過失	④	・SICからの流出時に誤って入口ランプに進入	・進入禁止標識の設置 ・路面標示の設置 ・カラー舗装、樹脂系薄層舗装の設置 ・本線案内標識の設置 ・錯視効果路面標示の設置	2025年度
2	2021年11月26日 10時25分	69	過失	④	同上		

- 名神 小牧ICでは、料金所外プラザでUターンし、逆走を開始する事案が発生
- 料金所プラザ付近では矢印路面標示や注意喚起看板、特別転回案内看板などによる逆走対策を実施済み
- 本線から料金所に向かうランプおよび料金所プラザ付近において、錯視効果路面標示による対策を追加

【逆走事案(概要)】



出口インターを間違い、料金所外プラザをUターンし逆走したもの。

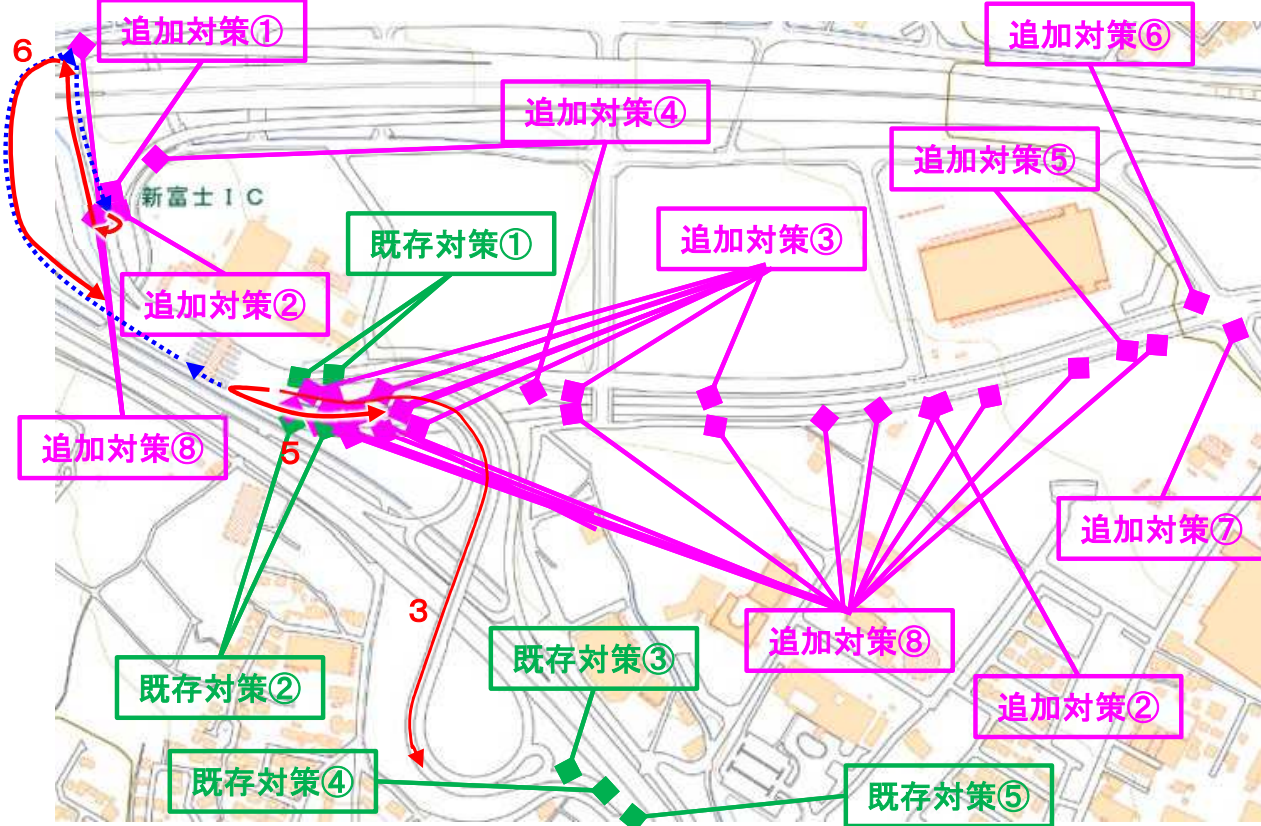
※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。



No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2024年1月5日	71	故意	④	出口インターを間違い、出口料金所の外プラザをUターンし逆走	・錯視効果路面標示の設置	2026年度

- 新東名高速道路 新富士ICでは、これまでに逆走事案が6件発生
- 錯視効果路面標示や矢印路面表示、特別転回案内看板等設置済み

【逆走事案(概要)】



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。



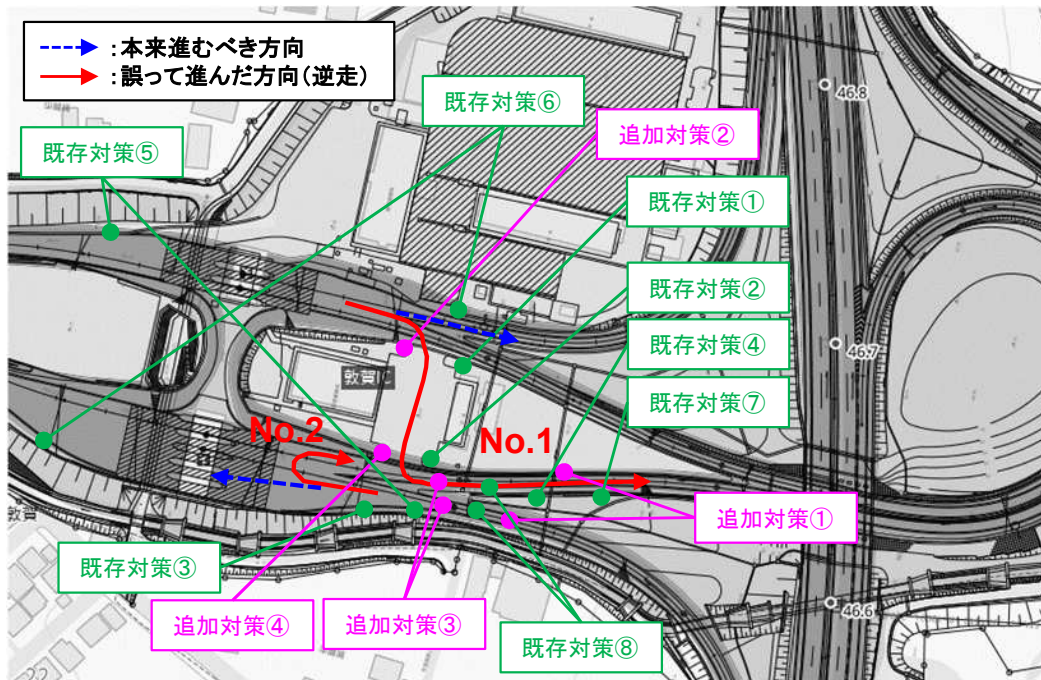
追加対策①追加対策② 追加対策③追加対策④ 追加対策⑤



No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2017年3月31日 15時50分	81	過失	④	・誤って高速道路に進入 ・一般道へ復帰しようとUターン	・電光表示による逆走警告の設置 ・錯視効果路面標示の設置 ・特別転回看板の追加(デザイン変更) ・ラバーポールの設置 ・高速道路案内看板の追加 ・薄層舗装の設置 ・矢印板の増設 ・誤進入車両案内看板の設置	2026年度
2	2020年4月7日 12時13分	78	故意	④			
3	2021年7月15日 10時52分	88	過失	④			
4	2023年9月7日 21時22分	76	過失	④			
5	2024年3月21日 14時15分	83	過失	④			
6	2024年8月13日 13時15分	83	その他	④	・逆走の認識なし ・一般道へ復帰しようとUターン		

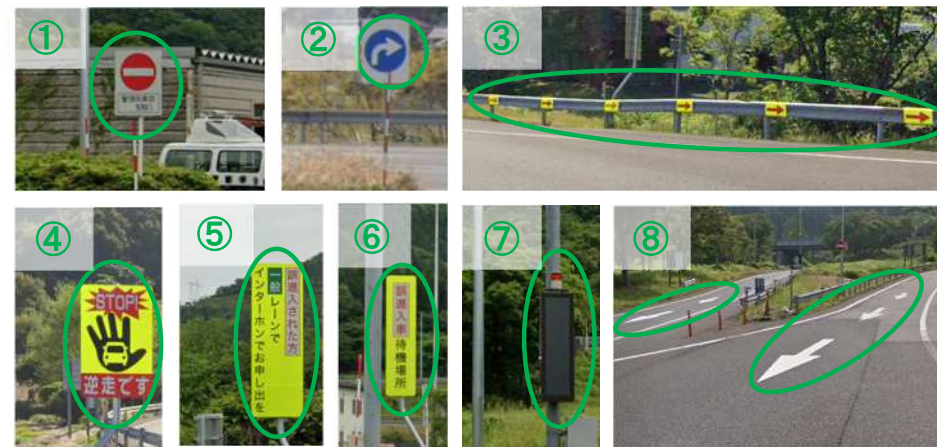
- 北陸道 敦賀ICでは、これまでに逆走事案が5件発生(一般道から誤って高速道路に進入し、管理用道路を通り抜け逆走を開始する事案が1件、料金所手前で高速道路に戻るためUターンする事案が1件発生)
- 管理用道路は閉塞できずUターンが可能な構造であるため、誤進入防止対策を強化

【逆走事案(概要)】



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策



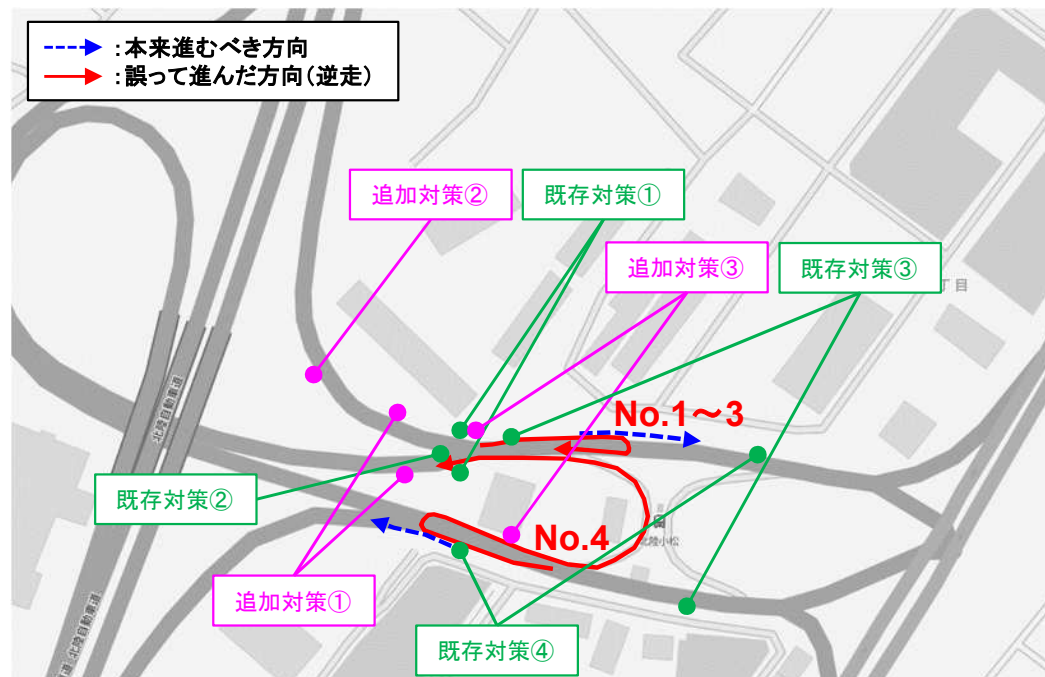
追加対策



No	日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2023.11.18	76	過失	④	・誤って高速道路へ進入し、一般道へ復帰しようとUターン ・進入禁止標識の見落とし	・プレッシャーウォールの設置 ・進入禁止・左折禁止看板の追加	2026年度
2	2019.11.18	61	過失	④	・高速道路へ復帰しようとUターン	・錯視効果を応用した路面標示の設置	

- 北陸道 小松ICでは、これまでに逆走事案が4件発生(一般レーンが全て閉鎖されていると思い込みブース手前で反転する事案が3件、バスレーンを走行し反転する事案が1件)
- 転回防止のため進行方向を明確化する対策を強化

【逆走事案(概要)】



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策



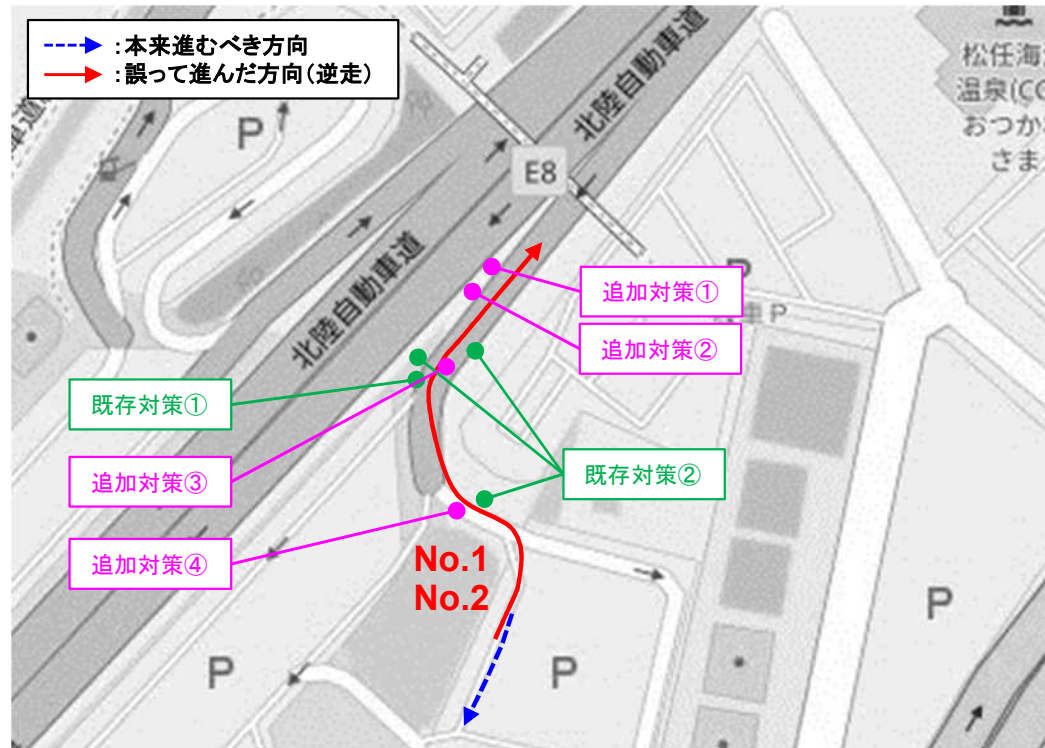
追加対策



No	日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施 予定時期
1	2022.9.21	67	過失	④	・高速道路へ復帰しようとUターン	・プレッシャーウォールの設置 ・電光表示警告の設置 ・矢印反射シートの追加	2026年度
2	2022.11.2	37	過失	④	・高速道路へ復帰しようとUターン		
3	2023.12.15	34	過失	④	・高速道路へ復帰しようとUターン		
4	2023.7.13	81	過失	④	・ランプ分岐部でUターンし、バスレーンを逆走		

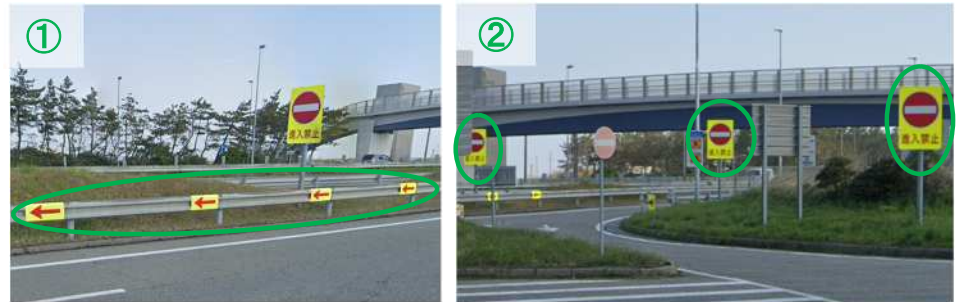
- 北陸道 徳光PAでは、これまでに逆走事案が2件発生(2件とも進行方向を誤り流入ランプを逆走)
- 進行方向を明確化する対策を強化

【逆走事案(概要)】



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策



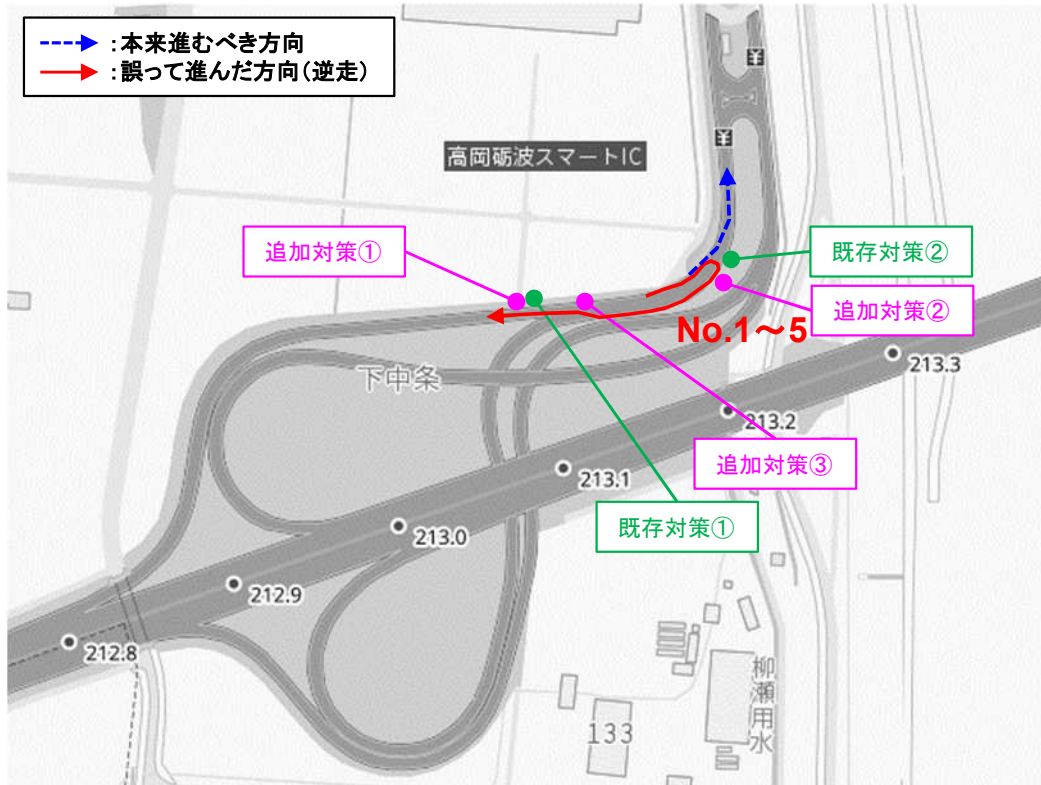
追加対策



No	日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2019.5.18	84	過失	②	・進入禁止標識の見落とし	・プレッシャーウォール、電光表示警告の設置 ・路面埋込型ブレードの設置 ・錯視効果路面標示の設置	2026年度 ～2028年度
2	2023.1.29	80	過失	②	・進入禁止標識の見落とし		

- 北陸道 高岡砺波SICでは、これまでに逆走事案が5件発生(5件とも非ETC車が誤って流出し、料金所手前で転回し逆走を開始)
- 非ETC車に対して退出路まで直進するよう案内を強化

【逆走事案(概要)】



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策



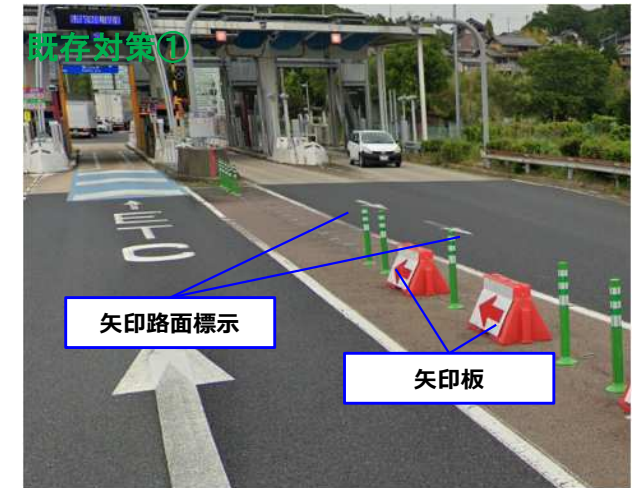
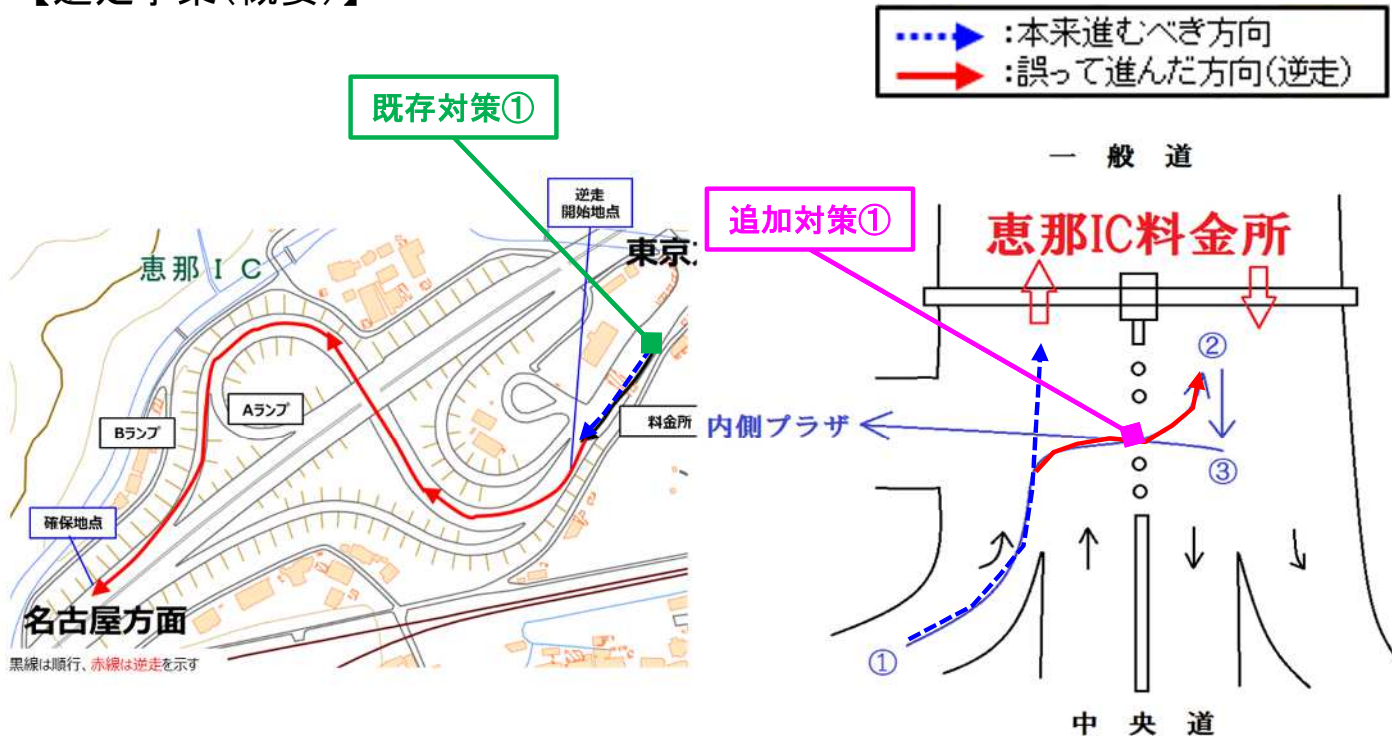
追加対策



No	日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施 予定時期
1	2017.2.10	79	故意	④	・高速道路へ復帰しようとUターン	・誤進入車両案内看板の設置 ・プレッシャーウォールの設置 ・錯視効果路面標示の設置	2026年度
2	2017.6.18	73	故意	④	・高速道路へ復帰しようとUターン		
3	2017.11.25	61	過失	④	・高速道路へ復帰しようとUターン		
4	2018.3.18	27	故意	④	・高速道路へ復帰しようとUターン		
5	2023.7.4	72	過失	④	・高速道路へ復帰しようとUターン		

- 中央道 恵那ICでは、料金所プラザ開口部から逆走を開始する事案が2件発生
- 開口部では矢印板や矢印路面標示による誤進入対策を実施しているが、錯視効果路面標示による対策を強化

【逆走事案(概要)】



料金所開口部における矢印路面標示、矢印板を設置済



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

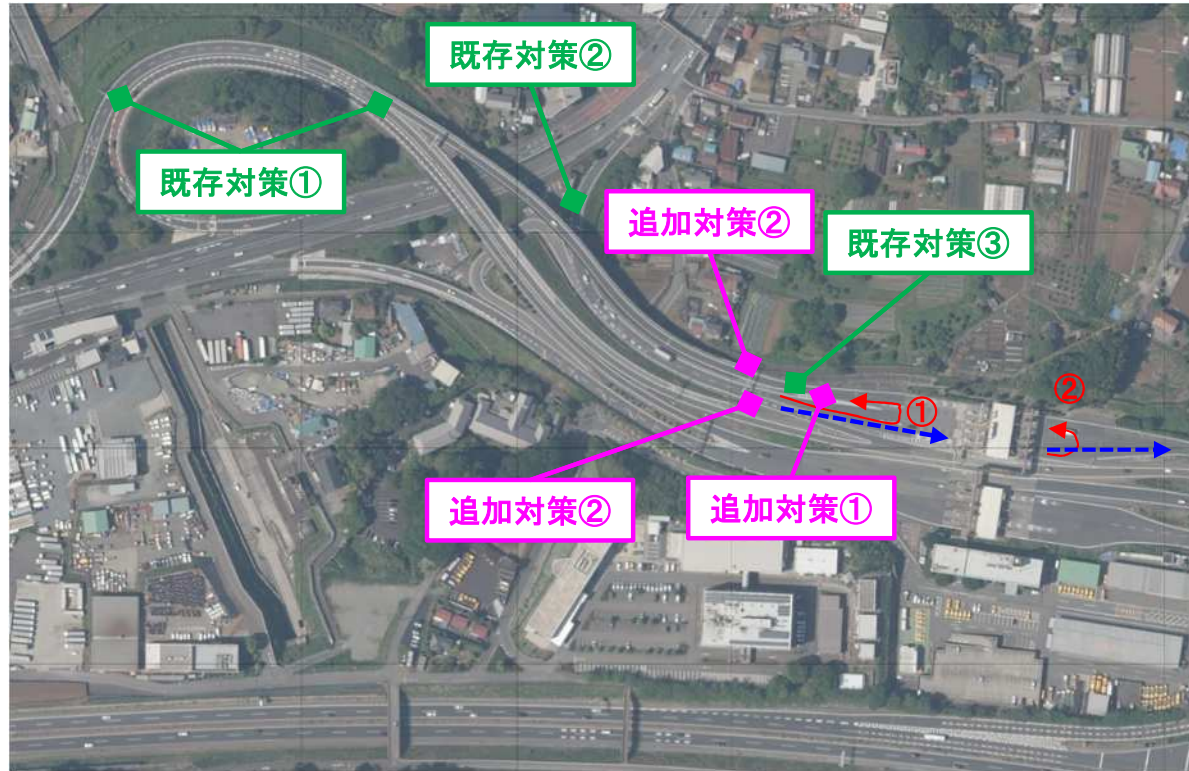
所No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2024年9月8日	82	過失	④	本線を流出後、料金所付近で出入境界部を間違え、料金所の入口レーンへ逆走で進入した	・錯視効果路面標示の設置	2026年度
2	2024年11月9日	75	過失	④	料金所付近の開口部で出入口境界部を間違え、本線流出ランプに逆走で進入した(料金所付近に高速バス停があるため常時締切は不可)		

重点対策箇所(E20 中央自動車道 八王子IC)

複数回

- 中央道 八王子ICでは、これまでに逆走事案が2件発生
- 既存対策として、方面案内を示す路面標示や案内標識、特別転回案内看板を設置

【逆走事案(概要)】



既存対策①



方面案内を示す路面標示や案内標識

既存対策②



案内標識

既存対策③



特別転回案内看板

追加対策①



ラバーポールウイングサイン

追加対策②



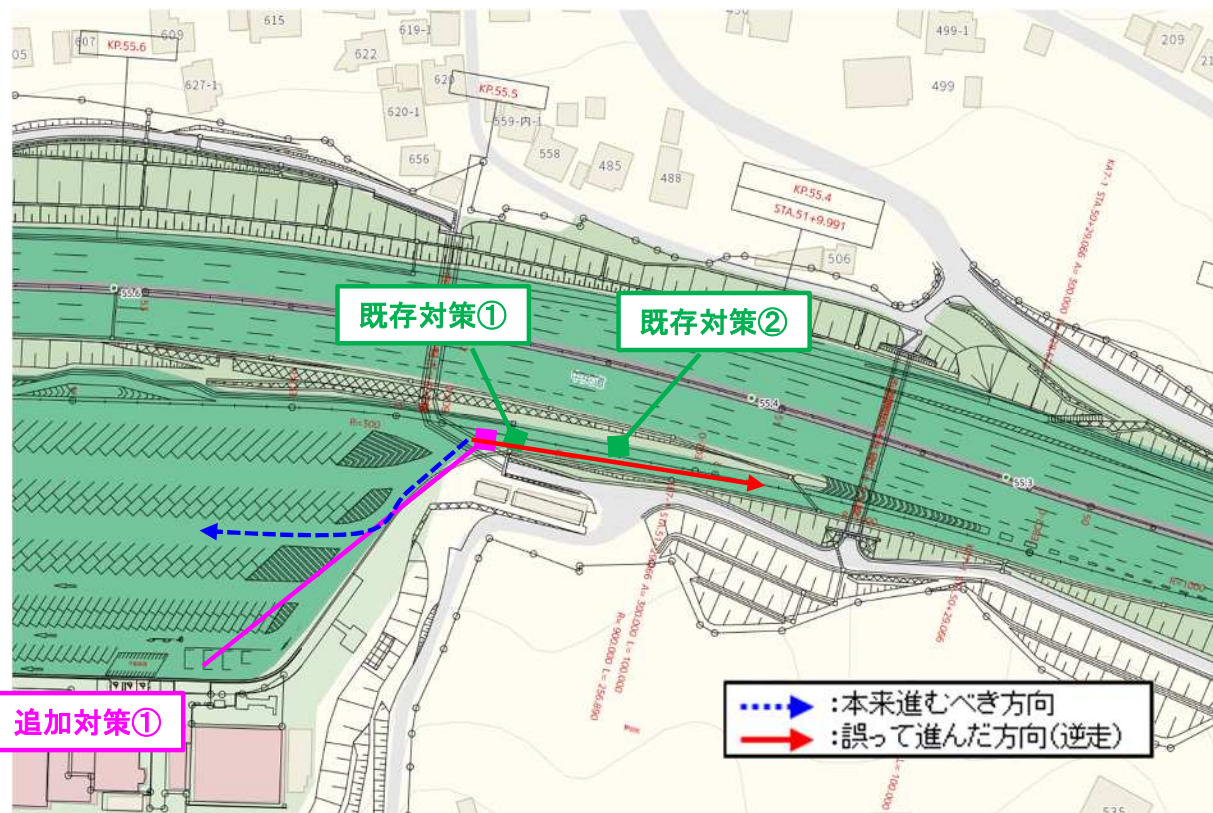
錯視効果路面標示

※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2019年4月12日 9時5分	20	故意	④	・誤って高速道路に進入 ・一般道へ復帰しようとUターン	・ラバーポールウイングサインの設置 ・錯視効果路面標示の設置	2026年度
2	2024年5月15日 9時21分	80	故意	④	・誤って高速道路に進入 ・一般道へ復帰しようとUターン		

○中央道 談合坂SA(下り)では、過去に逆走事案が2件発生

【逆走事案(概要)】



既存対策①



既存対策②



センサーによる逆走検知

追加対策①



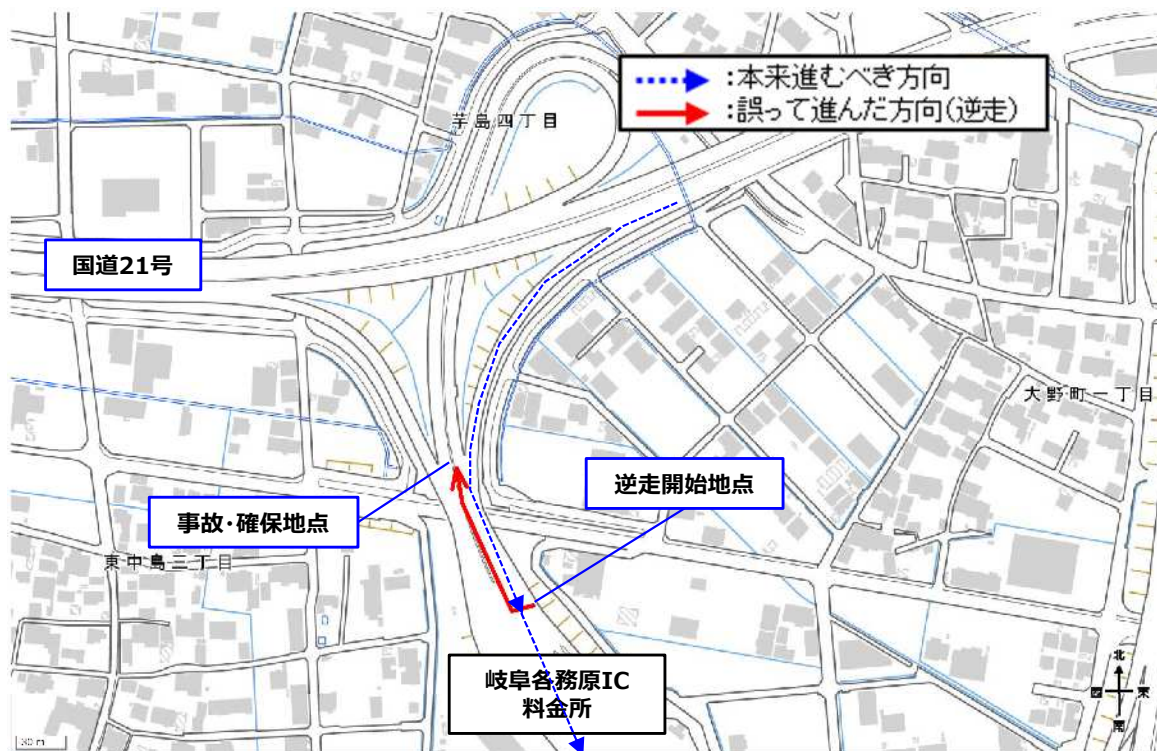
路面埋込型ブレード

※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2017年12月10日 7時28分	20	故意	④	遺失物を探そうとして誤った方向に進入	・路面埋込型ブレードの設置	2026年度 ～2028年度
2	2022年5月7日 0時20分	71	その他	④	休憩施設内で方向を間違え誤った方向に進入		

- 東海北陸道 岐阜各務原ICでは、これまでに一般道からの誤進入による逆走事案が3件発生
- うち1件は、入口料金所手前で、高速道路への誤進入に気づいてUターンし、入口ランプを逆走し、順走車両両に接触
- 入口ランプでの特別Uターン看板による誤進入対策を実施済みであり、料金所プラザ付近での錯視効果路面標示による対策を強化

【逆走事案(概要)】



高速道路への誤進入に気づき、料金所手前で逆走開始後、入口ランプ上で順走車両と正面衝突

※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。



No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2023年7月5日	78	過失	④	料金所外プラザ付近で路面標示による進行方向の案内を強化	・錯視効果路面標示の設置	2026年度

重点対策箇所検討 平面交差箇所 (E1 名神高速道路 安八SIC)

【逆走事案(概要)】

---> : 本来進むべき方向
--> : 誤って進むと想定される方向(逆走)



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策

方向案内標示



追加対策①

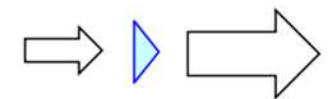


追加対策②

ウェッジハンプ



追加対策③



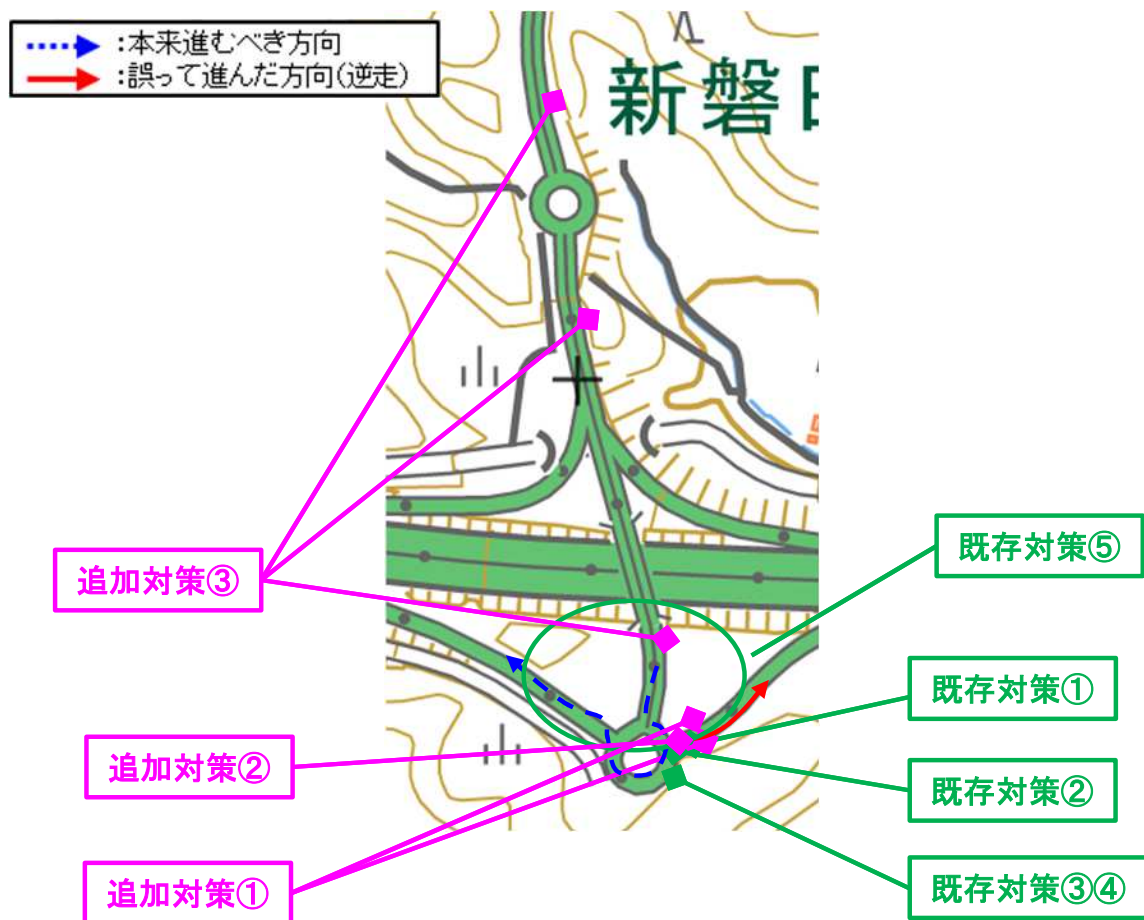
矢印路面標示の大型化

N o	動機	逆走 パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施 予定時期
—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・リバーシブル注意喚起看板の設置 ・ウェッジハンプの設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度

重点対策箇所検討 平面交差箇所（E1A 新東名高速道路 新磐田SIC）

- 新東名 新磐田SICでは、これまでに逆走事案が2件発生（ラウンドアバウトを誤ってオフランプに左折）
- オフランプ入口部に電光表示による逆走警告、方向案内標識、矢印板など設置済み

【逆走事案(概要)】



既存対策①



電光表示逆走警告

既存対策②



進入禁止看板

既存対策③④



方向案内標識・矢印版

既存対策⑤



カラー舗装

追加対策①



プレッシャーウォール

追加対策②



路面埋込型ブレード

追加対策③



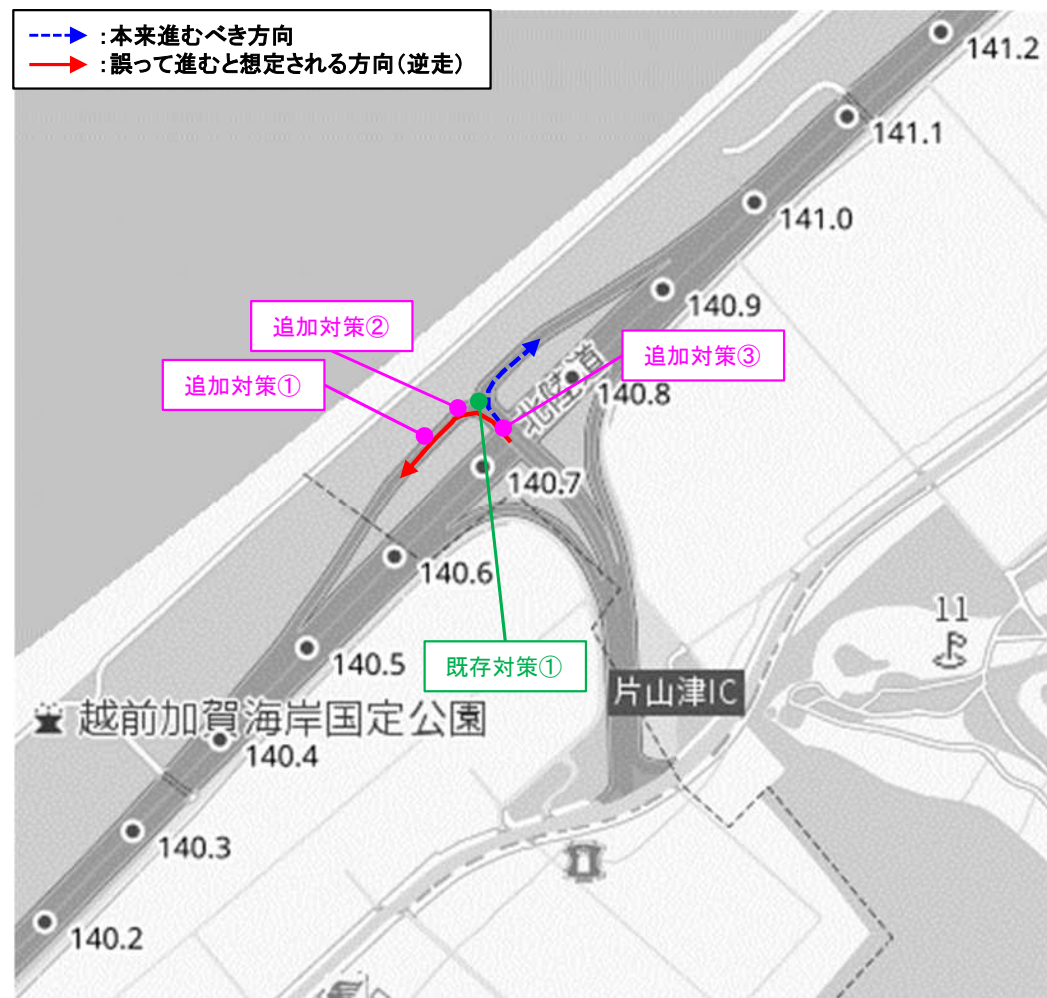
特別転回案内看板

※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

No	発生日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
1	2022年1月4日 8時30分	51	過失	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・プレッシャーウォールの設置 ・路面埋込型ブレードの設置 ・特別転回案内看板の増設	2026年度 ～2028年度
2	2023年3月29日 15時04分	73	過失	⑤	同上		

重点対策箇所検討 平面交差箇所（E8 北陸自動車道 片山津IC）

【逆走事案(概要)】

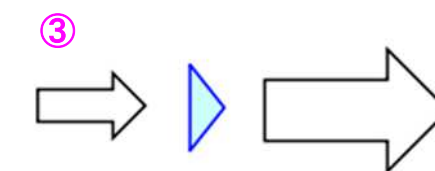


※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策



追加対策

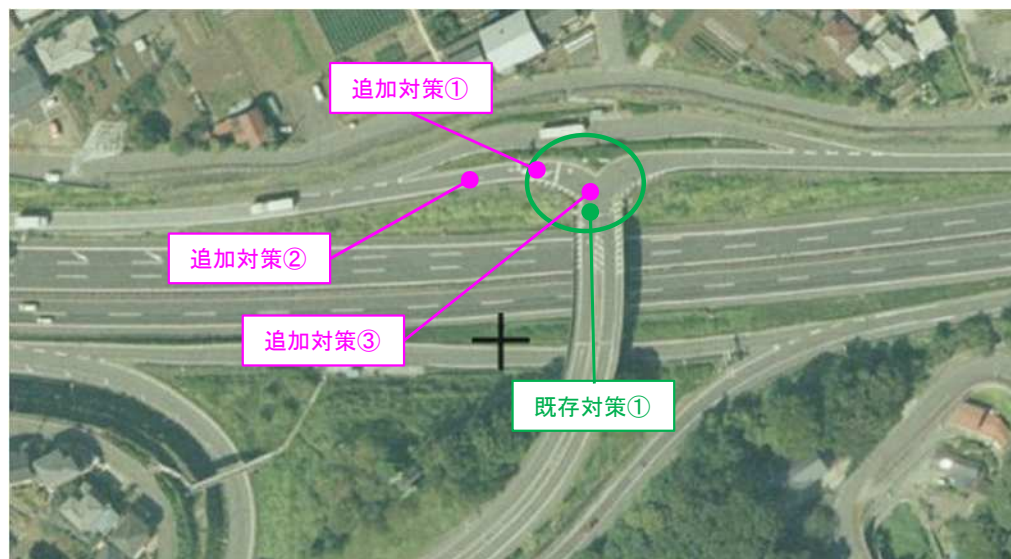


矢印路面標示の大型化

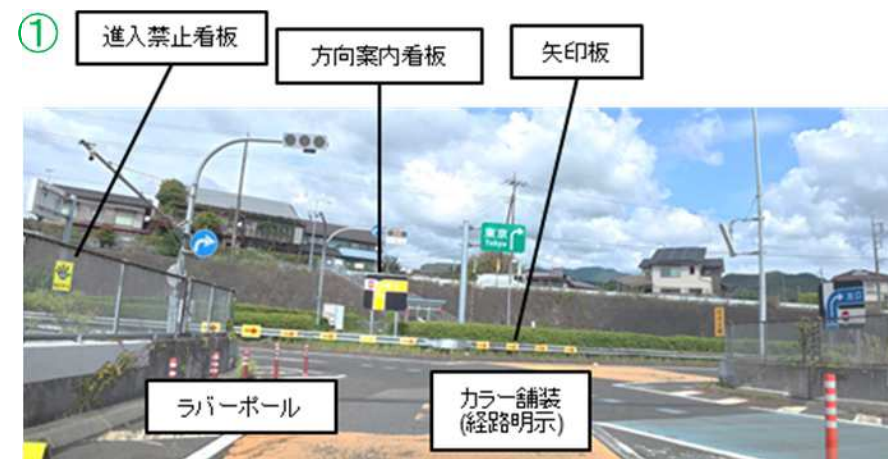
No	日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
—	—	—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・プレッシャーウォールの設置 ・路面埋込型ブレードの設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度 ～2028年度

【逆走事案（概要）】

---▶ : 本来進むべき方向
 ---▶ : 誤って進むと想定される方向（逆走）



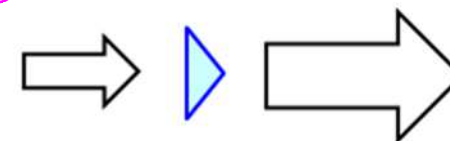
既存対策



追加対策



③



矢印路面標示の
大型化

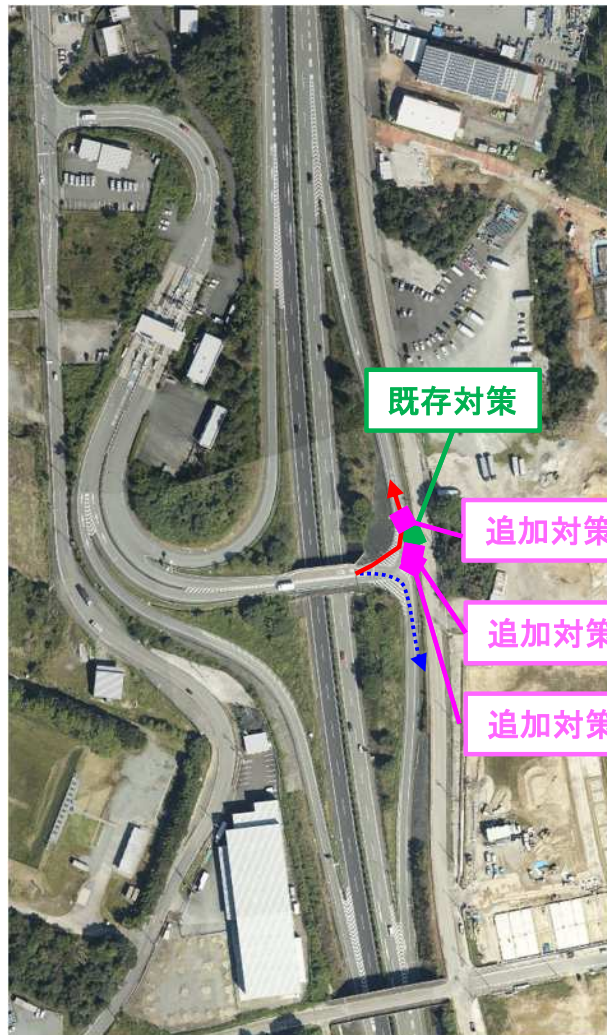
※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

No	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・路面埋込型ブレードの設置 ・電光表示による逆走警告装置の設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度 ～2028年度

重点対策箇所検討 平面交差箇所 (E23 伊勢自動車道 一志嬉野IC)

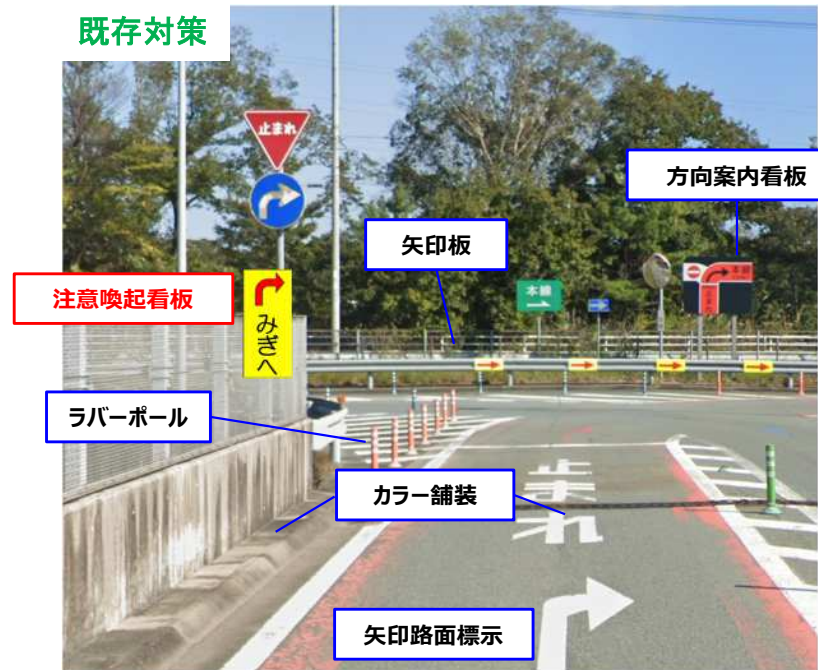
【逆走事案(概要)】

- ▶ : 本来進むべき方向
--- ▶ : 誤って進むと想定される方向(逆走)



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策



追加対策①



追加対策②



追加対策③



No	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・プレッシャーウォールの設置 ・路面埋込型ブレードの設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度 ～2028年度

重点対策箇所検討 平面交差箇所 (E23 伊勢自動車道 玉城IC)

【逆走事案(概要)】

---> : 本来進むべき方向
--> : 誤って進むと想定される方向(逆走)



既存対策

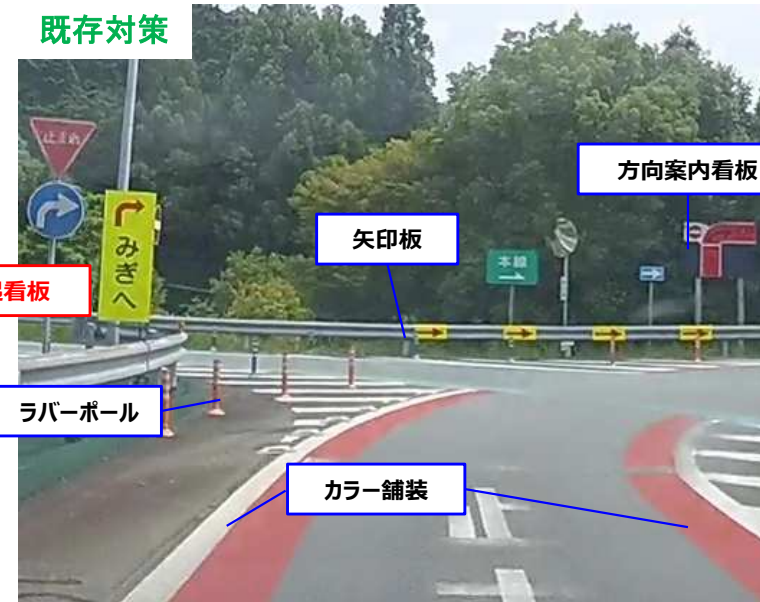
追加対策①

追加対策②

追加対策③

※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策



注意喚起看板

方向案内看板

矢印板

ラバーボール

カラー舗装

追加対策①



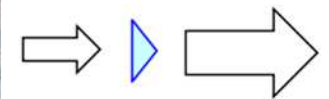
プレッシャーウォール

追加対策②



路面埋込型ブレード

追加対策③

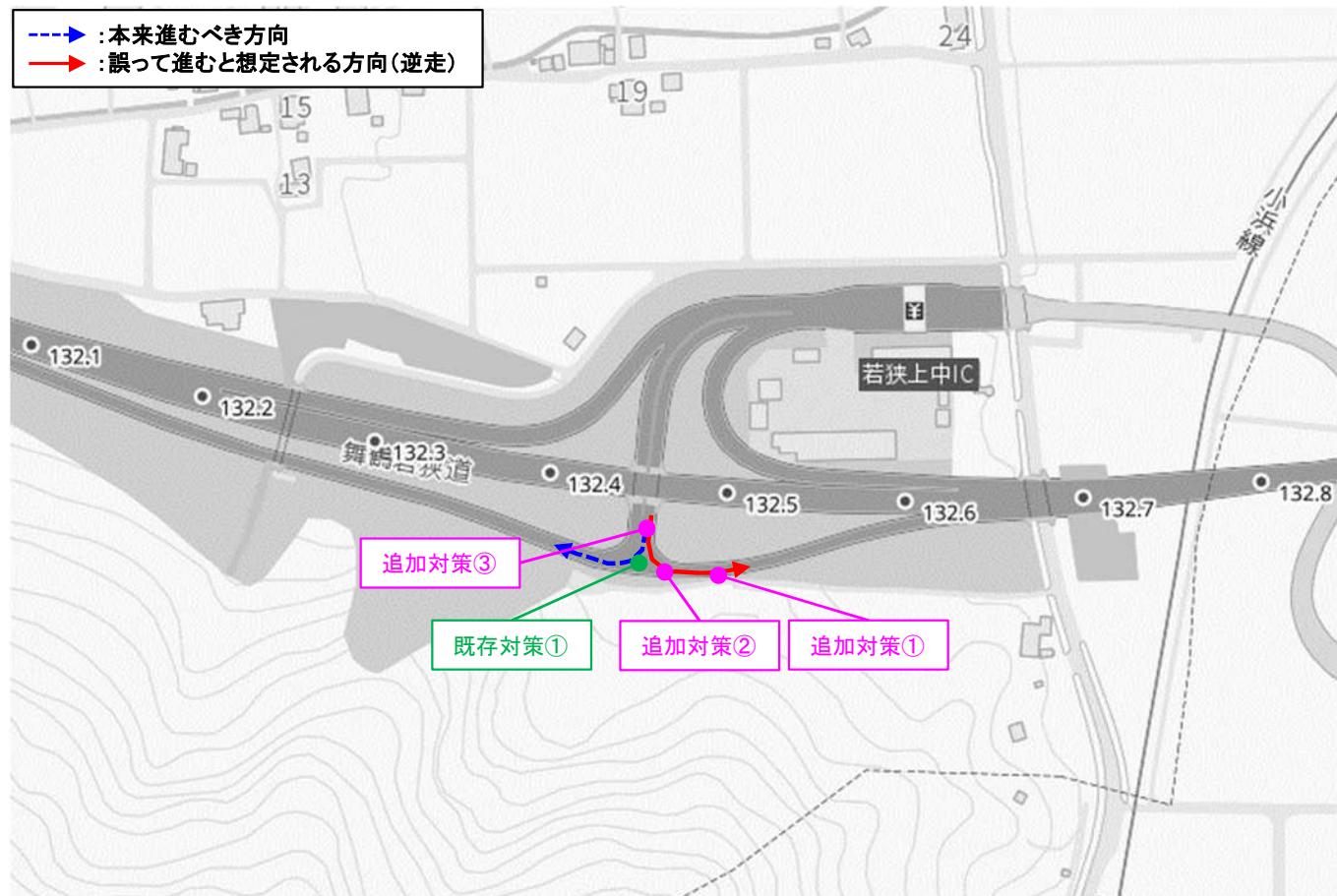


矢印路面標示の大型化

N o	動 機	逆走 パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施 予定時期
—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・プレッシャーウォールの設置 ・路面埋込型ブレードの設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度 ～2027年度

重点対策箇所検討 平面交差箇所（E27 舞鶴若狭自動車道 若狭上中IC）

【逆走事案(概要)】

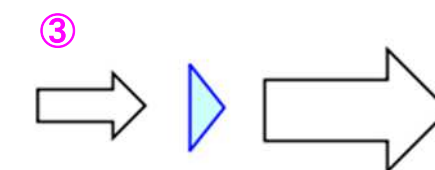


※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策



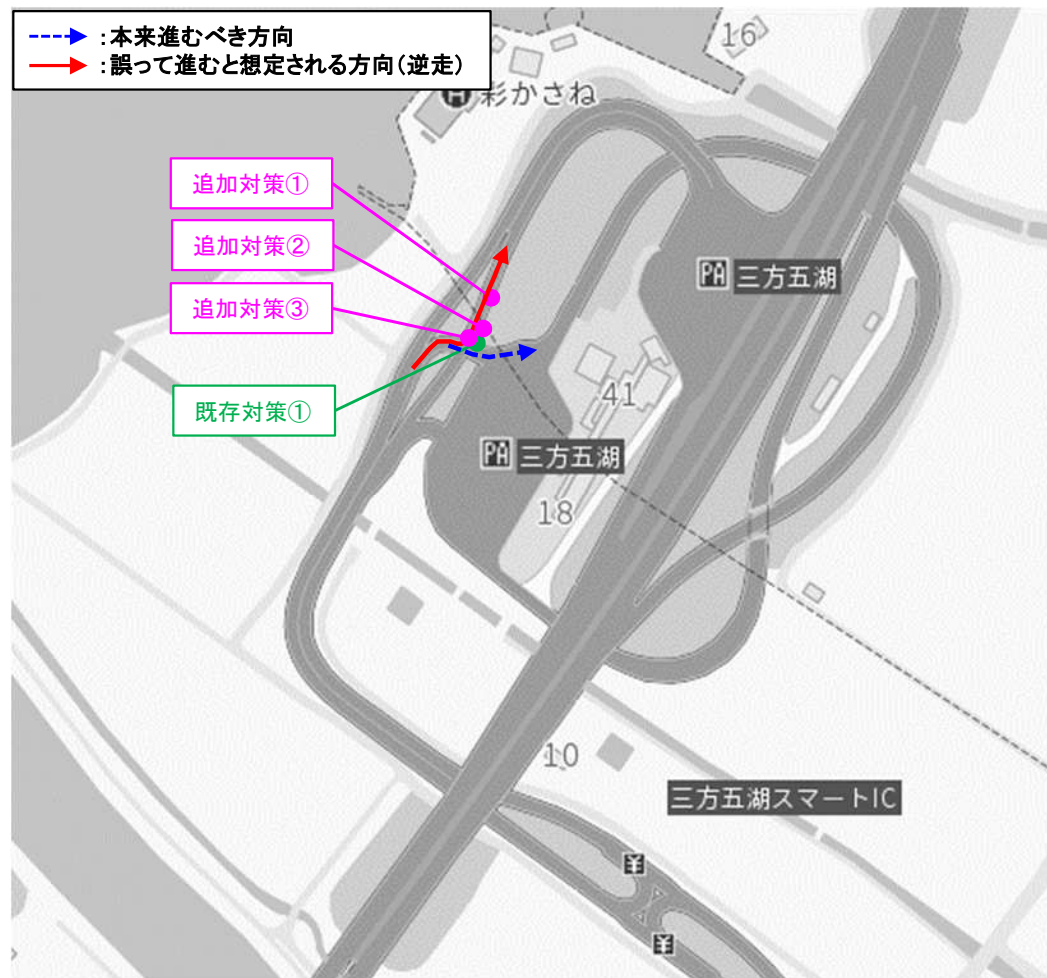
追加対策



矢印路面標示の大型化

No	日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
—	—	—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・プレッシャーウォールの設置 ・路面埋込型ブレードの設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度～2027年度

【逆走事案(概要)】

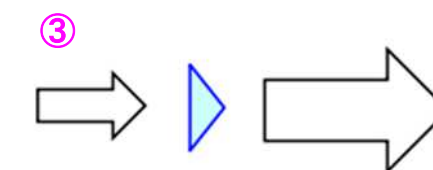


※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策



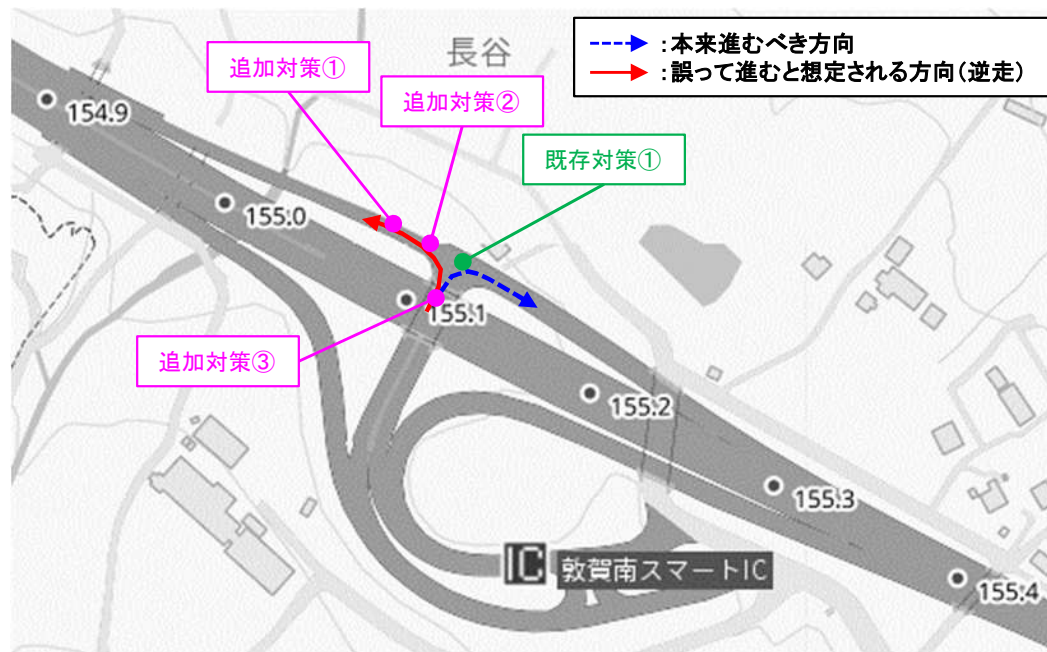
追加対策



矢印路面標示の大型化

No	日時	年齢	動機	逆走 パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施 予定時期
—	—	—	—	⑤	・平面交差点で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・プレッシャーウォールの設置 ・路面埋込型ブレードの設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度 ～2027年度

【逆走事案(概要)】

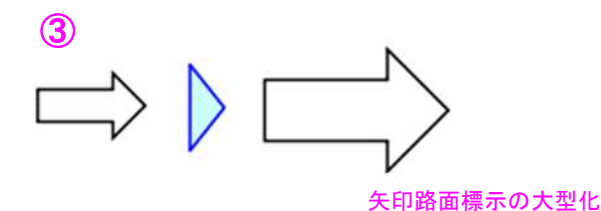


※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策



追加対策



No	日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
—	—	—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・電光表示による逆走警告の設置 ・路面埋込型ブレードの設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度～2027年度

重点対策箇所検討 平面交差箇所（E41 東海北陸自動車道 美並IC）

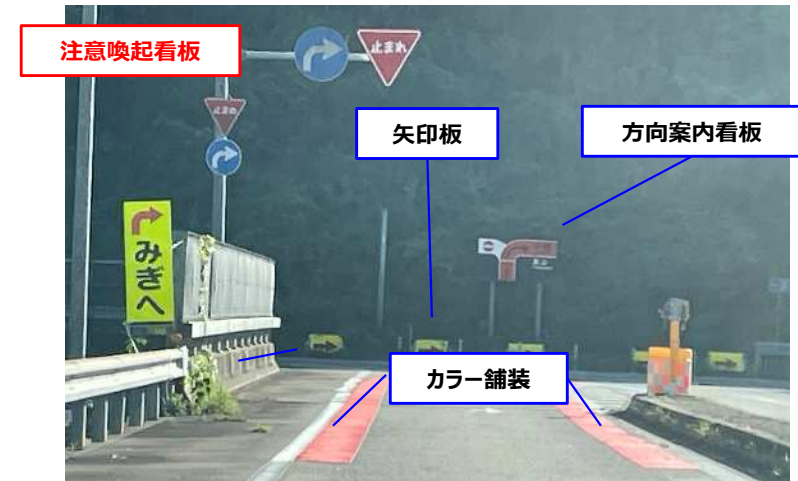
【逆走事案(概要)】

---> : 本来進むべき方向
--> : 誤って進むと想定される方向(逆走)



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策



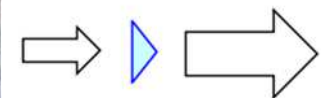
追加対策①



追加対策②



追加対策③



矢印路面標示の大型化

N o	動機	逆走 パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施 予定時期
—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプから オフランプへ左折	・プレッシャーウォールの設置 ・路面埋込型ブレードの設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度 ～2027年度

重点対策箇所検討 平面交差箇所 (E41 東海北陸自動車道 郡上八幡IC)

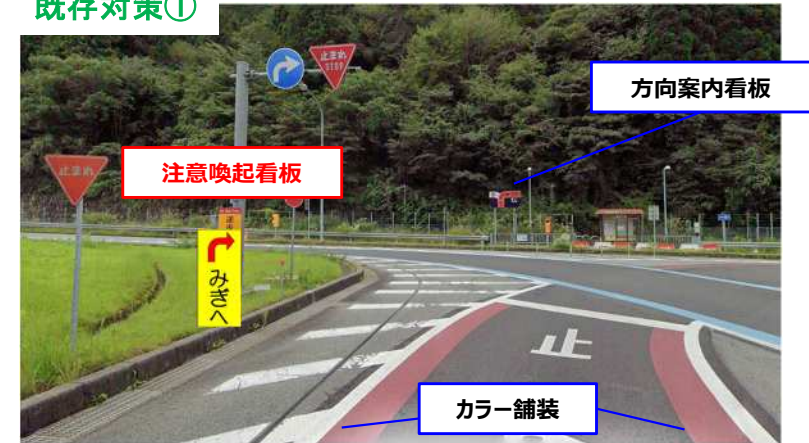
【逆走事案(概要)】

---> : 本来進むべき方向
--> : 誤って進むと想定される方向(逆走)



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策①



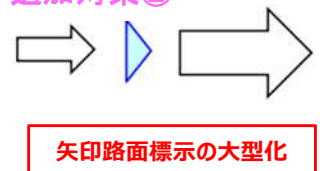
既存対策②



追加対策①



追加対策②

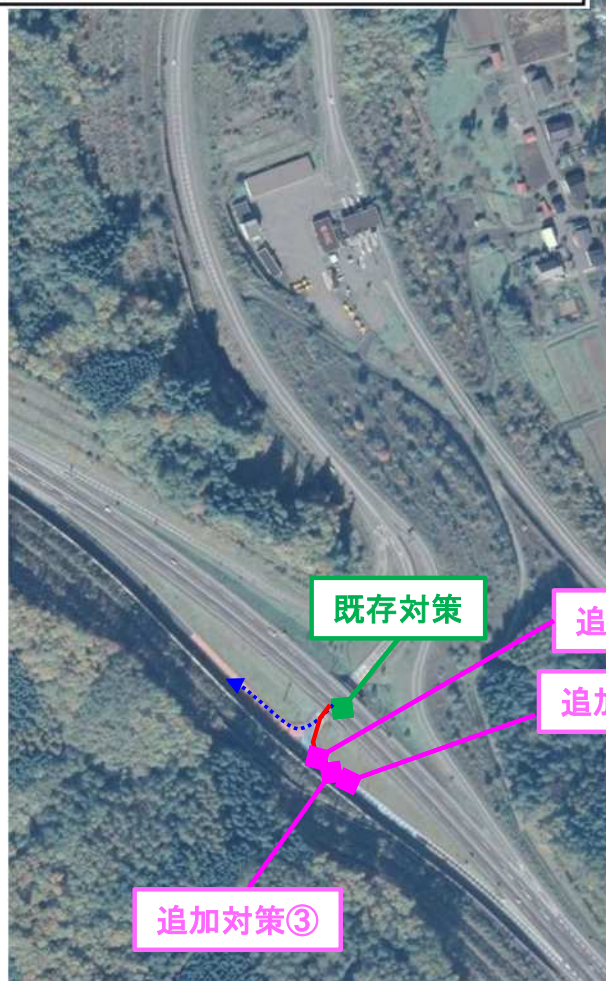


N o	動 機	逆走 パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施 予定時期
—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプから オフランプへ左折	・路面埋込型ブレードの設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度 ～2027年度

重点対策箇所検討 平面交差箇所 (E41 東海北陸自動車道 荘川IC)

【逆走事案(概要)】

- > : 本来進むべき方向
--> : 誤って進むと想定される方向(逆走)



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策



追加対策①



追加対策②



追加対策③

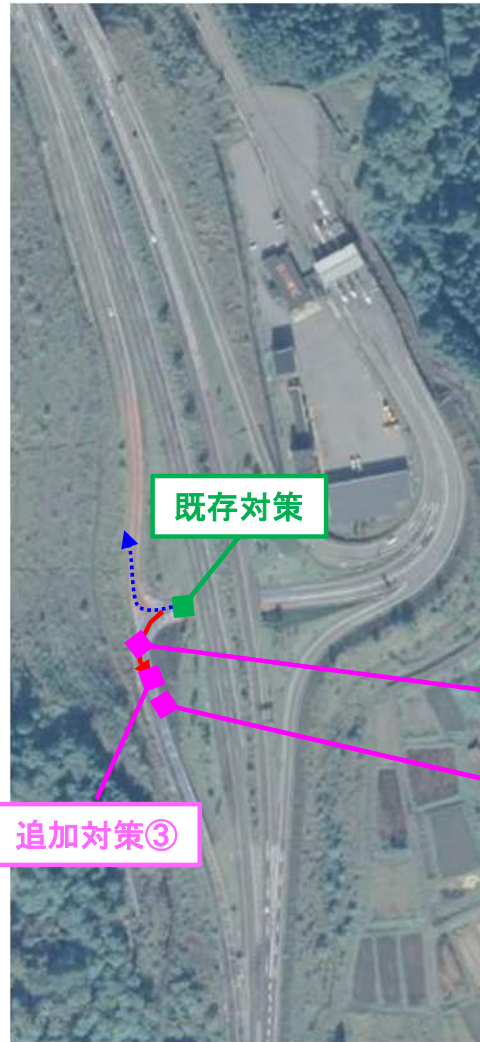


矢印路面標示の大型化

N o	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施 予定時期
—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・プレッシャーウォールの設置 ・路面埋込型ブレードの設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度 ～2028年度

【逆走事案(概要)】

--- ▶ : 本来進むべき方向
--- ▶ : 誤って進むと想定される方向(逆走)

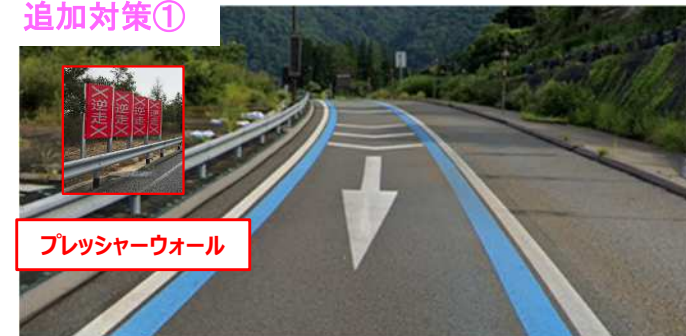


※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策



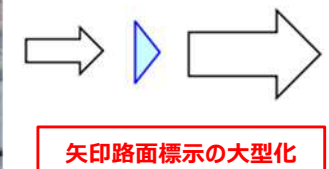
追加対策①



追加対策②

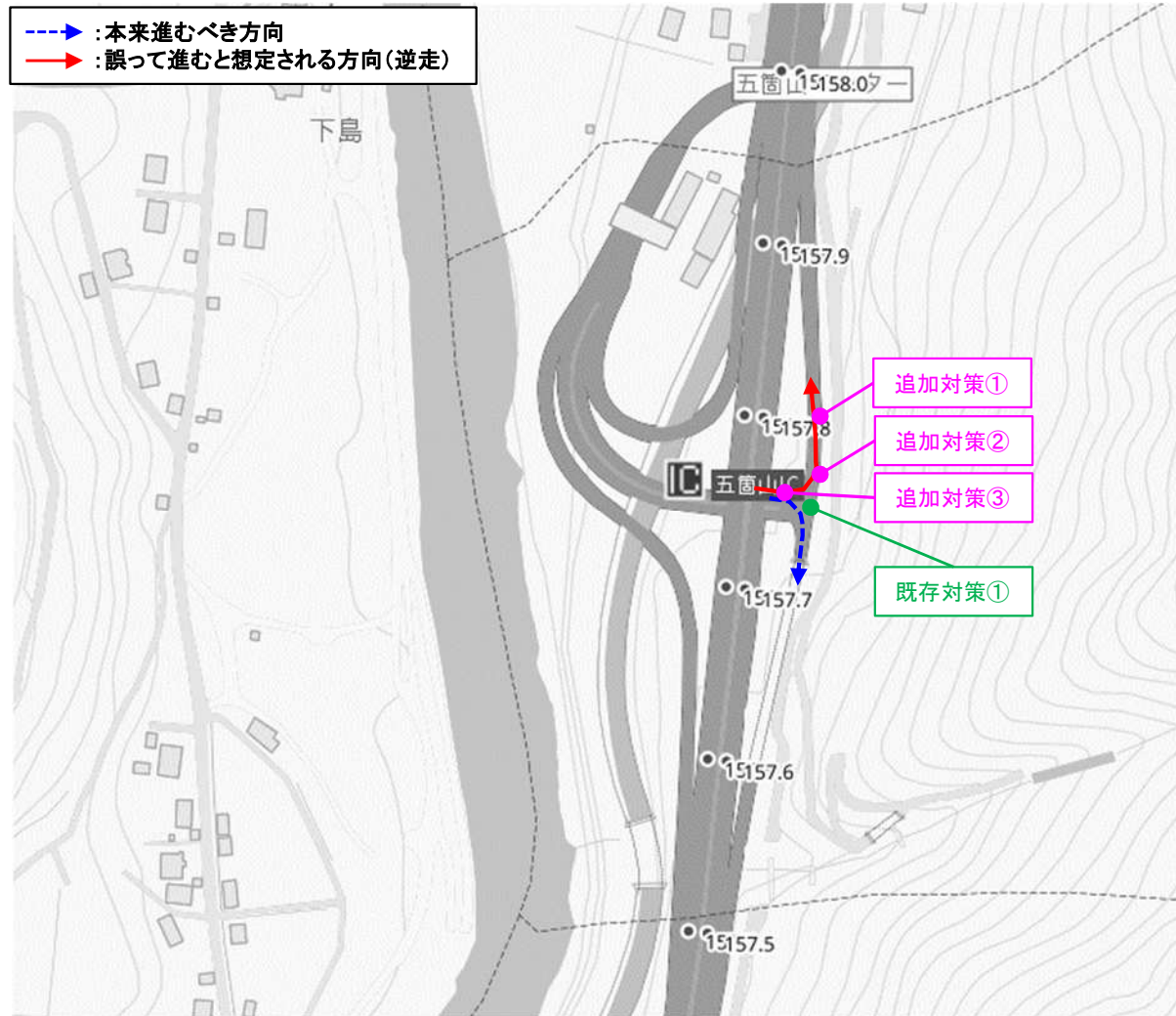


追加対策③



N o	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施 予定時期
—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・プレッシャーウォールの設置 ・路面埋込型ブレードの設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度 ～2028年度

【逆走事案(概要)】

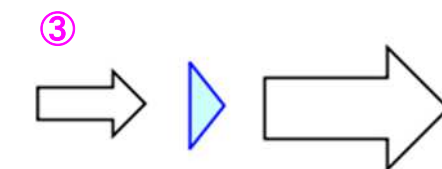


※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策



追加対策

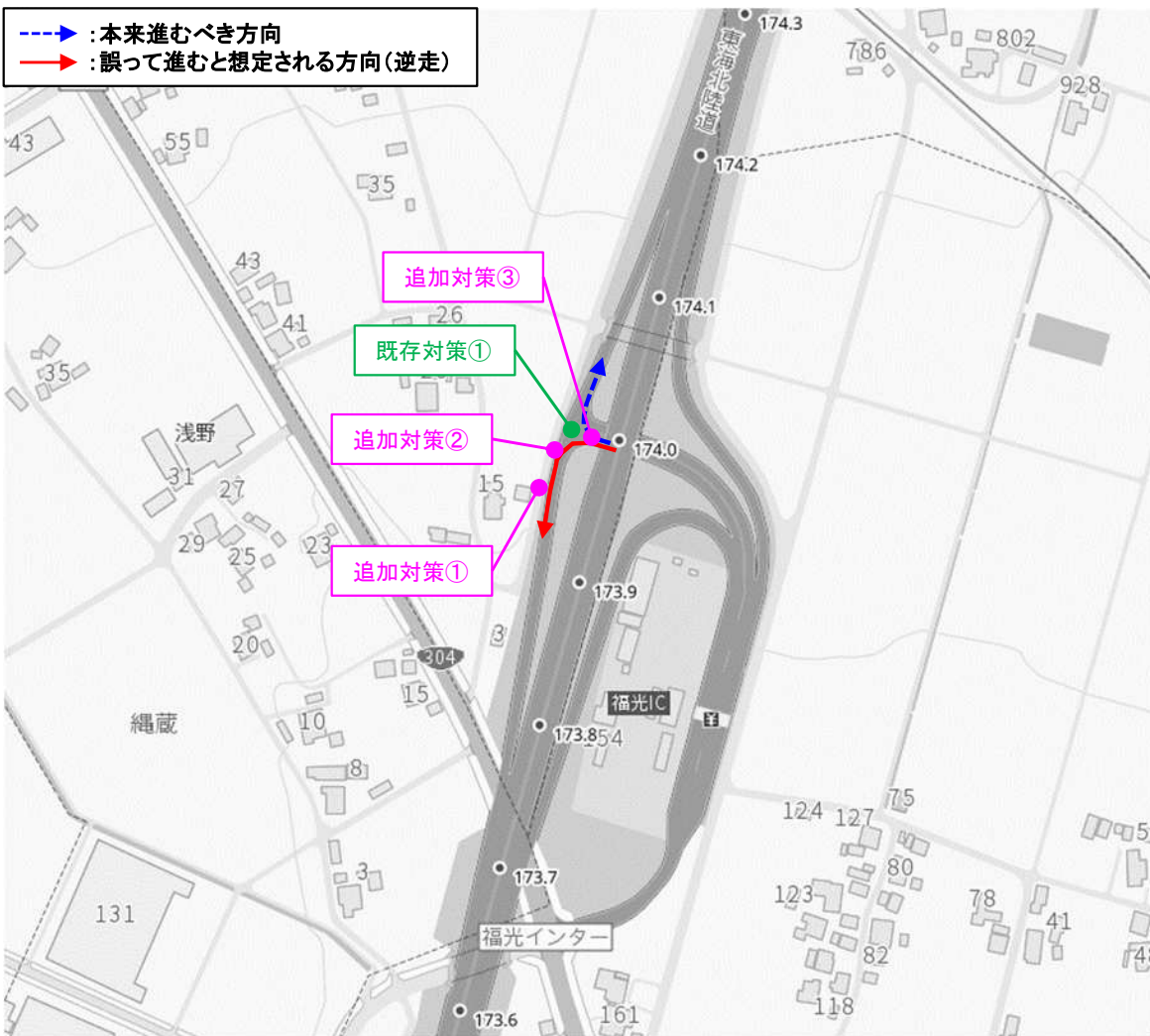


矢印路面標示の大型化

No	日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
—	—	—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・プレッシャーウォールの設置 ・路面埋込型ブレードの設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度

重点対策箇所検討 平面交差箇所（E41 東海北陸自動車道 福光IC）

【逆走事案(概要)】

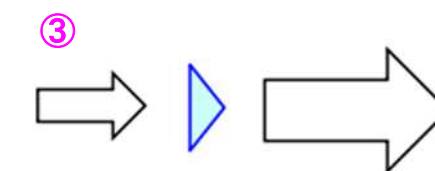


※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策



追加対策

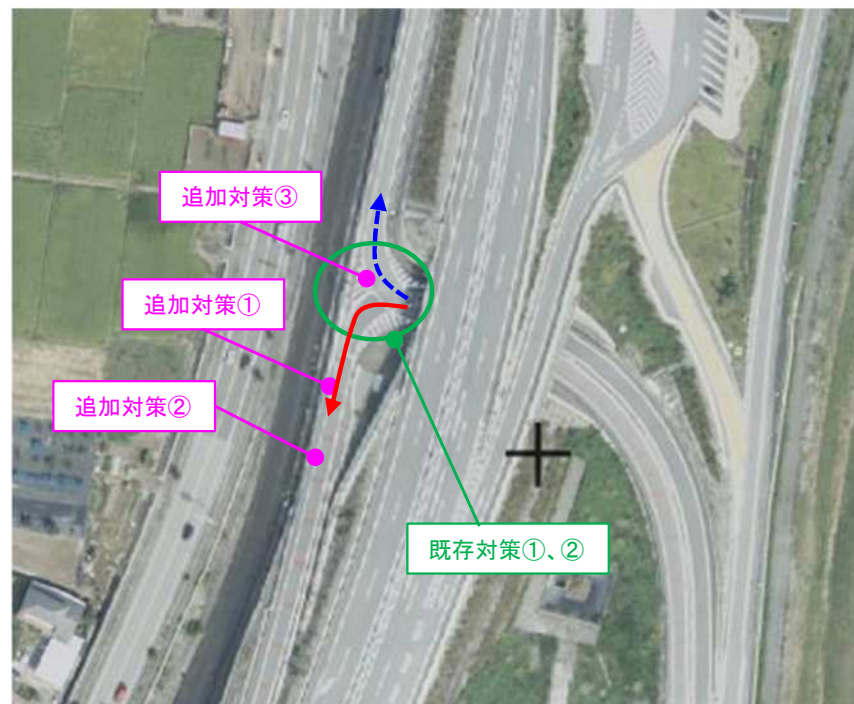


矢印路面標示の大型化

No	日時	年齢	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
—	—	—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・プレッシャーウォールの設置 ・路面埋込型ブレードの設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度 ～2028年度

【逆走事案（概要）】

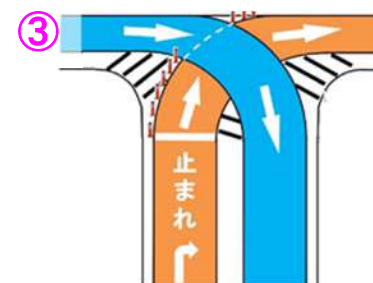
- : 本来進むべき方向
→ : 誤って進むと想定される方向（逆走）



既存対策



追加対策



カラー路面標示

※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や対策完了時期を見直すことがあります。

No	動機	逆走パターン	（想定される）逆走原因	対策内容（案）	整備実施予定時期
—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・路面埋込型ブレードの設置 ・電光表示による逆走警告装置の設置 ・カラー路面標示の施工	2026年度～2027年度

【逆走事案(概要)】

---> : 本来進むべき方向
--> : 誤って進むと想定される方向(逆走)



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。

既存対策

①



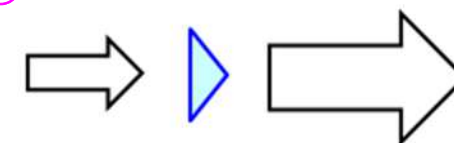
②



追加対策



②



矢印路面標示の
大型化

No	動機	逆走パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施予定時期
—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・路面埋込型ブレードの設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度

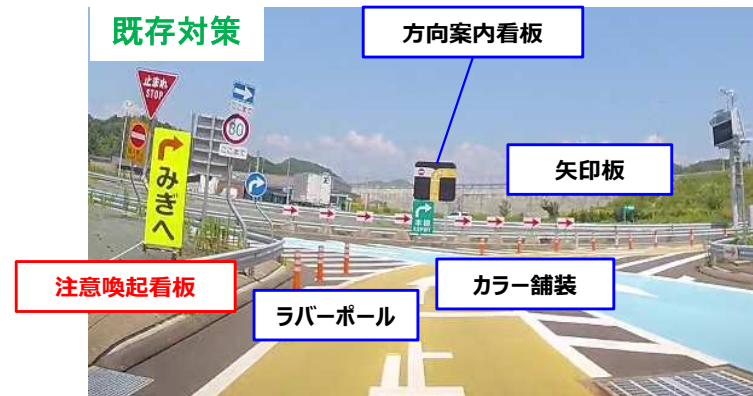
重点対策箇所検討 平面交差箇所 (C3 東海環状自動車道 岐阜三輪SIC)

【逆走事案(概要)】

→ : 本来進むべき方向
→ : 誤って進むと想定される方向(逆走)



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、今後の対策内容や整備実施予定時期を見直すことがあります。



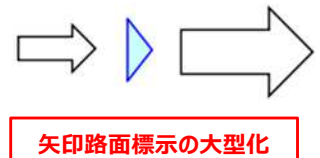
追加対策①



追加対策②



追加対策③



N o	動 機	逆走 パターン	(想定される)逆走原因	対策内容(案)	整備実施 予定時期
—	—	⑤	・平面交差部で誤ってオンランプからオフランプへ左折	・プレッシャーウォールの設置 ・路面埋込型ブレードの設置 ・矢印路面標示の大型化	2026年度 ～2027年度